

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

鳥取大学医学部医学科の平成 20 年度以降の入学定員については、平成 21 年度に「経済財政改革の基本方針 2008」に基づき後期日程に 5 名の恒久定員増を、「緊急医師確保対策」に基づき、推薦入試Ⅱ（特別養成枠）に平成 29 年度までの期限を付した 5 名の臨時定員増を実施した。

「緊急医師確保対策」に基づく臨時定員増 5 名については、平成 31 年度までの期限を付した再度の入学定員増を実施した。

また、「経済財政改革の基本方針 2009」に基づき、平成 22 年度に 13 名（鳥取県枠 8 名、島根県枠 2 名、兵庫県枠 2 名、山口県枠 1 名）を、「新成長戦略」に基づき平成 23 年度に 4 名（鳥取県枠 2 名、島根県枠 2 名）を、平成 24 年度に 3 名（鳥取県枠 2 名、島根県枠 1 名）を、前期日程（臨時養成枠）として平成 31 年度までの期限を付した臨時定員増としてそれぞれ実施した。

平成 31 年度を期限とする 25 名の入学定員の内 24 名について、令和 4 年度までの期限を付した再度の入学定員増を行った。また、令和 5 年度からは将来の県内医師数の不足及び診療科偏在を解消するため、特別養成枠を 1 名増やし、合計 25 名の入学定員増を行った。（令和 6 年度も同様。）令和 7 年度は、前期日程（臨時養成枠）1 名減で、合計 24 名の入学定員増を行った。令和 8 年度についても、前年度と同様 24 名の入学定員増を行い、入学定員を再度の定員増を行わなかった場合の 85 名から 109 名に変更する。（2 年次編入学 5 名含む）

これに合わせて、収容定員についても令和 8 年度の期限を付した臨時の入学定員増を踏まえ、再度の定員増を行わなかった場合の 505 名から 651 名に変更する。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

鳥取県では、令和 7 年に県が実施した医師数調査において全県で 194.9 人の医師が不足していた。二次医療圏別では、鳥取県東部で 59.5 人、中部で 67.5 人、西部（鳥取大学医学部附属病院を除く）で 43.1 人の医師が不足しており、医師の充足率は、東部 85.8%，中部 68.3%，西部 87.0% であった。診療科ごとでは、内科や外科を含めほとんどの診療科において、全県的に不足していた。

また、中山間地域を抱える町村部を中心に、公立病院等の医師が不足しており、各病院や地元の自治体から鳥取県へ多くの医師派遣要請があるが、まだ十分には応えることができない現状である。特別養成枠の奨学金制度は、内科または総合診療科の医師（県職員）として 9 年間中山間地域等の地域医療に貢献することが返還免除の要件である。ただし、将来、内科または総合診療科以外の診療科を希望する医師については、医師 7 年目以降は各自の希望する診療科の研修を認める。令和 8 年度の期限を付した再度 6 名の定員増によ

り、鳥取県が必要とする中山間地の医療を担う医師や不足している診療科等の医師を確保するものである。

また、臨時養成枠（鳥取県枠）の11名の定員増の継続により、鳥取県が必要とする全県の医療を担いつつ、特に医師不足が顕著な鳥取県東部及び中部の医療を担う医師を確保するものである。

島根県では、令和6年度の勤務医師実態調査において、全県で183.4人の医師が不足していた。特に雲南地区や島根県西部の大田、浜田、益田地区の医師充足率は全県値と比べて低く、診療科別では、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の充足率が70%未満であった。臨時養成枠（島根県枠）の令和8年度の期限を付した5名の定員増の継続により、島根県が必要とする医師を確保するものである。

兵庫県では、8圏域のうち神戸圏域と阪神圏域の人口10万人対医師数は全国平均を上回る一方で、その他6つの圏域のうち4つの圏域は全国値を1～2割下回る状況であり、地域偏在が生じている。また、へき地の医療機関や小児科、産科等の診療科・診療分野では、定年退職等による勤務医不足が顕在化しており、医療の継続が困難となっている状況もみられる。引き続き県内のどの地域でも安心して医療が受けられる地域医療体制の確保が課題となっており、臨時養成枠（兵庫県枠）の令和8年度の期限を付した2名の定員増の継続により、兵庫県が必要とする医師を確保するものである。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（1）入学者選抜方法

令和8年度の鳥取大学医学部医学科の特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）において特別養成枠の選抜を実施する。また、一般選抜（前期日程）においては、とつとり医療人養成枠（恒久定員内地域枠）を新設し、従来の鳥取県枠、島根県枠、兵庫県枠とともに、いずれも別枠の入試で実施する。

●出願資格

- ・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）特別養成枠

次の（1）から（9）の各号にすべて該当する者

（1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和6年3月及び令和7年3月に卒業した者（令和5年4月から令和7年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和8年3月卒業見込みの者（令和7年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）で、令和8年度大学入学共通テストを受験する者

（2）鳥取県に「鳥取県緊急医師確保対策奨学生」の申請をしている者

（3）将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

- (4) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者
- (5) 入学後は、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者
- (6) 卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者
- (7) 医師免許取得後、原則9年間鳥取県職員として鳥取県知事が勤務を命ずる県内の病院又は診療所医師の業務に従事することを確約できる者
- (8) 鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者
- (9) 鳥取県キャリア形成プログラムで規定する医療機関及び診療科で医師の業務に従事することを確約できる者

- ・一般選抜（前期日程）鳥取県枠

次の（1）から（3）の各号にすべて該当する者

- (1) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者
- (2) 医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者
- (3) 臨床研修開始後、12年以内に、知事の指定する県内医療機関に、9年勤務、かつ、当該期間（9年）のうち知事が指定した区域において4年（臨床研修期間を除く）以上勤務することを確約できる者

なお、「卒業年度」及び「出身地・出身高等学校の県内外」を問わない。

- ・一般選抜（前期日程）島根県枠

卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わないが、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること。

- ・一般選抜（前期日程）兵庫県枠

卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。

- ・一般選抜（前期日程）とっとり医療人養成枠

鳥取県と調整中。

●出願手続

- ・特別入試（学校推薦型選抜II）及び一般選抜（前期日程）の出願期間に、特別養成枠選

抜及び鳥取県枠、島根県枠、兵庫県枠、とつとり医療人養成枠にインターネットにより出願をさせる。

- ・出願書類：特別養成枠選抜は、共通テスト成績請求票、調査書及び推薦書（出身高等学長作成）、検定料、「予約奨学生」の決定通知書（写）、確約書等。鳥取県枠、島根県枠、兵庫県枠は、共通テスト成績請求票、調査書、確約書（誓約書）、自己評価シート、検定料、志願所信書（兵庫県枠のみ）等。

●選抜方法

- ・特別入試（学校推薦型選抜Ⅱ）で特別養成枠の選抜を実施する。大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合的に判定する。
- ・一般選抜（前期日程）鳥取県枠、島根県枠、兵庫県枠、とつとり医療人養成枠で選抜を実施する。大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書、自己評価シート等の結果を総合して判定する。

（2）教育課程の内容

地域医療に関する卒前教育は、1年次に基礎地域医療学で地域医療に関する基礎的な知識と考え方を伝えている。早期体験実習では大学病院及び中小病院・クリニックの見学を行い、入学後早期に地域医療への動機付けを促している。3年次には、総合診療の基礎となる「症候学」を症例基盤型で学習し、臨床推論のトレーニングを行う。また研究室配属では、特別養成枠学生（各学年6名）と希望者が地域医療学講座に配属され、地域医療教育拠点として日野病院に設けられた「鳥取大学地域医療総合教育研修センター」および大山診療所に設置された「家庭医療教育ステーション」を拠点に、地域に出かけて総合診療と保健・医療・福祉の連携、地域包括ケア、多職種連携などについて学ぶ機会を設けている。R6年度は全県域の中山間地の医療施設を見学し課題をまとめて日本プライマリケア連合学会で報告した。4年次の地域医療体験では、鳥取県全域の種々の医療施設を訪問し、医療人類学の方法論（エスノグラフィー）を用いてe-ポートフォリオ作成を行い教官からの逐次オンラインでフィードバックを受ける。5年次のクリニカルクラークシップⅠでは、鳥取大学地域医療総合教育研修センター（日野病院）あるいは家庭医療教育ステーション（大山診療所）の地域医療実習を必修とし、1週間のプライマリ・ケアに関する実習をおこなう。6年次にクリニカルクラークシップⅡで地域医療を希望した学生には前述の地域医療総合教育研修センターあるいは家庭医療教育ステーションで、1ヶ月の間、総合診療を中心とした外来・病棟演習、在宅医療、住民への健康講座の計画実践などをおこなっている。

さらに、鳥取大学は平成30年度に国際基準による医学教育認証（第1回目）及び令和7年度に第2回目認証審査を受審した。医学教育改革に向けてコンピテンシーについての議論がなされ、「地域医療」を8項目のコンピテンスの一つに位置づけている。また、地域枠

学生の地域医療へのモチベーションを喚起するため、地域医療学講座が提案する複数企画（総合診療演習、プライマリ・ケア連合学会への参加、家庭医療学テキスト勉強会、読書会、モデル地区での地域体験ツアー、インドネシアなど海外での家庭医療研修など）や鳥取県企画のサマーセミナー・スプリングセミナーのうち、一つ以上の企画参加を必須とし、自らの年度目標と総括を義務付け、正規のカリキュラム外での自発的な地域医療学習を促している。地域枠学生（M1-M4）は地域医療医学講座の企画する地域枠総会（年2回）への参加を必須とし、優れた活動成果をあげた学生を表彰している。

（3）卒業後のキャリアパス形成

1. 鳥取県の特別養成枠について

平成29年3月に鳥取大学特別養成枠と自治医科大学の医師のキャリアパスが改訂され、さらに令和元年7月、5年5月、6年11月に追加の改訂がされた。これらの医師はいずれも県職員として9年間勤務の義務を有するので、両者に共通の制度として整備された。

1) 鳥取大学特別養成枠卒業医師の臨床研修（医籍登録後1，2年目）

県内の基幹型臨床研修病院で研修する。（事情により、福祉保健部長が適当であると認められた場合には、県外での実施も可とする。）

2) 後期研修及び派遣

内科または総合診療科医としての勤務を原則とする。

・後期研修1：臨床研修を修了した直後に、県立の基幹型臨床研修病院または鳥取大学医学部附属病院のうち、県の指定する病院で実施する。（同3年目）

・後期研修1修了後の総合医の派遣先は自治体病院とする。（同4～5年目）

・後期研修2：おおむね医籍登録後6年目の1年間とし、県内基幹型臨床研修病院での実施を基本とする。

・後期研修2修了後の派遣先は、自治体病院等とする。（同7～9年目）

※医籍登録後3年目からの4年間で、内科専門医または総合診療専門医の取得を目指すことができる。

・内科または総合診療科に勤務してきた医師で、将来内科・総合診療科以外の専門領域をめざす医師は、6年目に中山間地の自治体病院等での内科・総合診療科に勤務した後、7年目から9年目は各自が目指す選択領域の専門研修をすることを認める。ただし、中山間地の公的医療機関に派遣する医師が確保されることが要件とされている。

3) 派遣先の決定

鳥取県福祉保健部と病院局及び県立病院が協議のうえ異動案を作成し、知事決裁により決定する。

2. 臨時養成枠（鳥取県枠）の医師について

厚生労働省より令和3年4月に通知があった「地域枠の定義」に基づき、卒業後、12年間のうちに9年間以上県内病院で勤務すること、この期間のうち、医師の確保を図るべき区域等（知事が指定した区域）において臨床研修期間を除き4年以上勤務するよう令和4年度から従事要件が改定された。なお、専門領域についての制限はない。

3. 臨時養成枠（島根県枠）の医師について

厚生労働省から令和3年4月に通知があった「地域枠の定義」に基づき、令和4年度から次の通り従事要件が改定された。卒業後、12年間のうちに9年間、知事が定める島根県内の指定医療機関に勤務する。ただし、鳥取大学で専門研修を行う場合については、3年間を限度に猶予期間が延長される。また、9年間のうち4年間は島根県の過疎地域に所在する特定地域医療機関に勤務する必要がある。専門領域についての制限はない。

臨床研修を島根県内の過疎地域に所在する指定医療機関（特定地域医療機関）で実施した場合、特定地域医療機関の勤務年数に含まれる。

4. 臨時養成枠（兵庫県枠）の医師について

医籍登録後、一定の期間（9年間を基本）を県職員として、県が指定する医師不足地域等の医療機関で勤務する。

1) 医籍登録後1～2年目：へき地医療に関わりがある臨床研修病院で基本的診療能力を習得する。

2) 前期派遣（医籍登録後3～5年目）：へき地等の医療供給体制を確保するために勤務する。

キャリア支援のため、以下のコースを設定している。

・内科・総合診療育成コース

・特定診療科育成コース（小児科、産婦人科、外科、救急科、整形外科、脳神経外科）

3) 後期研修（医籍登録後6～7年目）

より高度で専門的な医療技術を修得する。大学病院や県立病院での研修も可能である。

4) 後期派遣（医籍登録後8～9年目）

へき地等での医療提供体制を確保するために勤務する。前期派遣で選択したコースの診療科に派遣する。

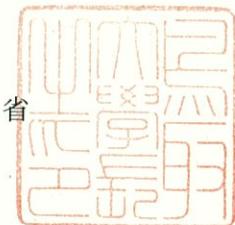
令和 8 年度
医学部入学定員増員計画

鳥大医学 19-3 号
令和 7 年 8 月 18 日

文部科学省高等教育局長 殿

職名及び氏名

鳥取大学長 原 田



「地域の医師確保等の観点からの令和 8 年度医学部入学定員の増加について（令和 7 年 8 月 5 日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

| | | |
|--------|--------|--------------------------------------|
| 責任者連絡先 | 職名・氏名 | 鳥取大学米子地区事務部学務課長 重松 良昭 |
| | TEL | 0859-38-7093 |
| | E-mail | me-gakumusoum@ml.adm.tottori-u.ac.jp |

| | |
|------|------|
| 大学名 | 国公私立 |
| 鳥取大学 | 国立 |

1. 現在（令和7年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

| 入学定員 | 2年次編入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|------|----------|----------|------|
| 104 | 5 | 0 | 651 |

(収容定員計算用)

| | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | 計 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) 入学定員 | 104 | 104 | 104 | 105 | 105 | 104 | 626 |
| (イ) 2年次編入学定員 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 25 |
| (ウ) 3年次編入学定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 109 | 109 | 109 | 110 | 110 | 104 | 651 |

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和8年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

| 入学定員 | 2年次編入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|------|----------|----------|------|
| 80 | 5 | 0 | 505 |

(収容定員計算用)

| | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | 計 |
|--------------|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) 入学定員 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 480 |
| (イ) 2年次編入学定員 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 25 |
| (ウ) 3年次編入学定員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 85 | 85 | 85 | 85 | 85 | 80 | 505 |

(臨時のな措置で減員した場合、その人数)

3. 令和8年度の増員計画

| 入学定員 | 2年次編入学定員 | 3年次編入学定員 | 収容定員 |
|------|----------|----------|------|
| 104 | 5 | 0 | 529 |

(収容定員計算用)

| | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | 計 |
|--------------|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (ア) 入学定員 | 104 | 80 | 80 | 80 | 80 | 80 | 504 |
| (イ) 2年次編入学定員 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 0 | 25 |
| (ウ) 3年次編入学定員 | | | | | | | 0 |
| 計 | 109 | 85 | 85 | 85 | 85 | 80 | 529 |

(臨時のな措置で減員した場合、その人数)

増員希望人数

24

(内訳)

| | |
|---------------------------------|----|
| (1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠） | 24 |
| (2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠） | 0 |
| 計 | 24 |

地域の医師確保のための入学定員増について

| | |
|--------|----|
| 増員希望人数 | 24 |
|--------|----|

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

| | 都道府県名 | 増員希望人数 |
|--------------|-------|--------|
| 大学が所在する都道府県 | 鳥取県 | 17 |
| | 兵庫県 | 2 |
| | 島根県 | 5 |
| 大学所在地以外の都道府県 | | |
| | | |
| | | |
| 計 | | 24 |

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

| 都道府県名 | R6地域枠定員 (※1) | R6貸与者数 (※2) | R7地域枠定員 (※1) | R7貸与者数 (※2) | R6とR7の貸与者数のうち多い方の数 |
|-------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|--------------------|
| 鳥取県 | 18 | 30 | 17 | 29 | 30 |
| 兵庫県 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 島根県 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| | | | | | 0 |
| | | | | | 0 |
| | | | | | 0 |
| 計 | 25 | 37 | 24 | 36 | 37 |

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和8年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和6年度に実施した地域枠学生（令和7年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

| 名称 | 入試区分 | 選抜方式 | 募集人数 うち臨時定員分 | 選抜方法（※1） | 出願要件（※1） | 診療科の選定の有無 | （診療科の選定が有る場合）その診療科名 | 開始年度 | 備考 |
|-----------------|-------------------------|---------|-----------------|---|---|-----------|---------------------|-------|----|
| | | | | | | | | | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ（特別養成枠） | （i）学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 6 6 | 大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定する。「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定する。同点の場合は、面接の得点が高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とする。 ・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。 ・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となる。 ・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、「特別養成枠」の合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となり、「地域枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。 ・「特別養成枠」について、鳥取県緊急医師確保対策奨学生申請の結果、予約奨学生に決定されなかった者は、「特別養成枠」の合格者にならない。 ・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがある。 | 次の（1）から（9）の各号にすべて該当する者 (1) 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和5年3月及び令和6年3月に卒業した者（令和4年4月から令和6年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）で、令和7年度大学入学共通テストを受験する者 (2) 鳥取県に「鳥取県緊急医師確保対策奨学生」の申請をしている者 (3) 将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者 (4) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者 (5) 入学後は、鳥取県の奨学生を必ず受給することを確約できる者 (6) 卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者 (7) 医師免許取得後、原則9年間鳥取県職員として鳥取県知事が勤務を命ぜる県内の病院又は診療所医師の業務に従事することを確約できる者 (8) 鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者 (9) 鳥取県キャリア形成プログラムで規定する医療機関及び診療科で医師の業務に従事することを確約できる者 | 有（推奨） | 内科、総合診療科 | H21以前 | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠） | （i）学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 5 0 | 大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定する。 大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が920点満点中613点以上の者を第1段階選抜の合格者とする。 ・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定する。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断する。 ・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を併願した場合の合否判定方法は、「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。 ・面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがある。 | 次の各号にすべて該当する者 (1) 鳥取県内の高等学校を令和5年3月及び令和6年3月に卒業した者（令和4年4月から令和6年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。） (2) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者 (3) 入学後は、鳥取県の奨学生を必ず受給することを確約できる者 (4) 卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者 (5) 医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者 (6) 臨床研修修了後、原則9年以内に鳥取県知事が指定する県内病院等において4年間通算して勤務することを確約できる者 | 無 | | H21以前 | |
| 一般選抜（鳥取県枠） | （iii）一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 13 11 | 大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定する。 大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が920点満点中613点以上の者を第1段階選抜の合格者とする。 ・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定する。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断する。 | 次の（1）から（3）の各号にすべて該当する者 (1) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者 (2) 医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者 (3) 臨床研修開始後、12年以内に、知事の指定する県内医療機関に、9年勤務。かつ、当該期間（9年）のうち知事が指定した区域において4年（臨床研修期間を除く）以上勤務することを確約できる者 なお、「卒業年度」及び「出身地・出身高等学校の県内外」を問わない。 | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（兵庫県枠） | （iii）一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 2 2 | 卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時に本人又は保護者が兵庫県に居住していること。 | | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（島根県枠） | （iii）一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 5 5 | 卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わないが、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること。 | | 無 | | H22 | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|----------------------------|--|----|----|---|--|---|----|------------------|
| 医学科学士編 入学 | (iv) その他※ 備考欄に詳細を 記入 | | 5 | 0 | <p>個別学力試験（基礎科学・英語）及び面接の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は課題論文、成績証明書等により総合的に判断します。</p> <p>なお、面接試験において医師としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。</p> | <p>次の1から3の条件をすべて満たす者とする。</p> <p>1. 将来、鳥取県の地域医療に貢献したいという熱意と強い意志を持つ者で、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者。</p> <p>※本募集は、鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで、出願してください。（入学後、鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）</p> <p>2. 次の条件（1）～（3）のいずれかに該当する者。</p> <p>（1）大学を卒業した者及び令和7年3月までに卒業見込みの者（医学部医学科を除く）。</p> <p>（2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位（学士（医学）を除く）を授与された者、又は外国においてこれに相当する学位を授与された者。</p> <p>（3）（1）、（2）を満たさない者で、大学院修士課程又は博士課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者。</p> <p>3. 次の条件（1）又は（2）のいずれかに該当する者。</p> <p>（1）鳥取県、島根県、岡山県、広島県、兵庫県の高等学校を卒業した者。</p> <p>（2）父母のいずれかの現住所地が鳥取県の者。（父母については義理の父母も含むものとする。）</p> | 無 | R4 | 学士（2年次）編 入学試験 |
| 合計 | | | 36 | 24 | | | | | |

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

②令和7年度に実施する地域枠学生（令和8年入学）の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行う場合には、それぞれご記入ください。

また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

| 名称 | 入試区分 | 選抜方式 | 募集人数 うち臨時定員分 | 選抜方法（※1） | 出願要件（※1） | 診療科の選定の有無 | （診療科の選定が有る場合）その診療科名 | 開始年度 | 備考 | |
|-----------------|--------------------------|---------|-----------------|----------|--|--|---------------------|----------|---------------------|--|
| | | | | | | | | | | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ（特別養成枠） | (i) 学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 6 | 6 | <p>大学入学共通テストの成績、調査書、推薦書及び面接の結果により総合判定する。「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定する。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、それぞれ「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。 ・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、「特別養成枠」の合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となり、「地域枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。 ・「特別養成枠」について、鳥取県緊急医師確保対策奨学生予約受付申請の結果、予約受学生に決定されなかった者は、「特別養成枠」の合格者にならない。 ・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格となることがある。 | <p>次の（1）から（9）の各号にすべて該当する者 （1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和6年3月及び令和7年3月に卒業した者（令和5年4月から令和7年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和8年3月卒業見込みの者（令和7年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）で、令和8年度大学入学共通テストを受験する者 （2）鳥取県に鳥取県緊急医師確保対策奨学生の申請をしている者 （3）将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校等の長が責任をもって推薦する者で、合格した場合は入学することを確約できる者 （4）医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者 （5）入学後は、鳥取県の奨学生を必ず受給することを確約できる者 （6）卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者 （7）医師免許取得後、原則9年間鳥取県職員として鳥取県知事が勤務を命ぜる県内の病院又は診療所医師の業務に従事することを確約できる者 （8）鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者 （9）鳥取県キャリア形成プログラムで規定する医療機関及び診療科で医師の業務に従事することを確約できる者</p> | 有（推奨） | 内科、総合診療科 | H21以前 | |
| 学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠） | (i) 学校推薦型選抜 | 別枠（区別型） | 5 | 0 | <p>大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定する。</p> <p>大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が920点満点中613点以上の者を第1段階選抜の合格者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」「とどり医療人養成枠」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定する。 ・同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断する。 | <p>次の各号にすべて該当する者 (1) 鳥取県内の高等学校を令和6年3月及び令和7年3月に卒業した者（令和5年4月から令和7年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和8年3月卒業見込みの者（令和7年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。） (2) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者 (3) 入学後は、鳥取県の奨学生を必ず受給することを確約できる者 (4) 卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者 (5) 医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者 (6) 臨床研修修了後、原則9年以内に鳥取県知事が指定する県内病院等において4年間通算して勤務することを確約できる者</p> | 無 | | H21以前 | |
| 一般選抜（鳥取県枠） | (iii) 一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 11 | 11 | <p>大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果により総合判定する。</p> <p>大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が920点満点中613点以上の者を第1段階選抜の合格者とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」「とどり医療人養成枠」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定する。 ・同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別試験の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断する。 | <p>次の（1）から（3）の各号にすべて該当する者 (1) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者 (2) 医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者 (3) 臨床研修開始後、12年以内に、知事が指定する県内医療機関に、9年勤務、かつ、当該期間（9年）のうち知事が指定した区域において4年（臨床研修期間を除く）以上勤務することを確約できる者 なお、「卒業年度」及び「出身地・出身高等学校の県内外」を問わない。</p> | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（兵庫県枠） | (iii) 一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 2 | 2 | <p>「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を併願した場合の合否判定方法は、「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。</p> <p>「一般枠」と「とどり医療人養成枠」を併願した場合の合否判定方法は「とどり医療人養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。</p> | <p>卒業年度を問わない。出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時ににおいて本人又は保護者が兵庫県に居住していること。</p> | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（島根県枠） | (iii) 一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 5 | 5 | <p>「地域枠（鳥取県）」と「とどり医療人養成枠」を併願した場合の合否判定方法は「地域枠（鳥取県）」を優先して選抜し、「地域枠（島根県）」の合格者とならなかった場合、「とどり医療人養成枠」として選抜の対象となる。</p> <p>「一般枠」と「地域枠（鳥取県）」と「とどり医療人養成枠」を併願した場合の合否判定方法は「地域枠（鳥取県）」を優先して選抜し、「地域枠（鳥取県）」の合格者とならなかった場合、「とどり医療人養成枠」として選抜の対象となり、「とどり医療人養成枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となる。</p> | <p>卒業年度を問わない。出身地、出身高等学校は県内外を問わなければ、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること。</p> | 無 | | H22 | |
| 一般選抜（とどり医療人養成枠） | (iii) 一般選抜 地域枠（前期・後期） | 別枠（区別型） | 7 | 0 | <p>・面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格となることがある。</p> <p>※「とどり医療人養成枠」と「地域枠（島根県、兵庫県）」の併願は不可。</p> | <p>鳥取県と調整中。</p> | 無 | | 開始年度は令和7年度（令和8年度入学） | |

| | | | | | | | | | |
|--------------|----------------------------|--|----|----|--|--|---|----|------------------|
| 医学科学土編 入学 | (iv) その他※ 備考欄に詳細を 記入 | | 5 | 0 | <p>個別学力試験（基礎科学・英語）及び面接の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は課題論文、成績証明書等により総合的に判断します。</p> <p>なお、面接試験において医師としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格となります。</p> | <p>次の1から3の条件をすべて満たす者とする。</p> <p>1. 将来、鳥取県の地域医療に貢献したいという熱意と強い意志を持つ者で、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者。</p> <p>※本募集は、鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで、出願してください。（入学後、鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）</p> <p>2. 次の条件（1）～（3）のいずれかに該当する者。</p> <p>（1）大学を卒業した者及び令和8年3月までに卒業見込みの者（医学部医学科を除く）。</p> <p>（2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位（学士（医学）を除く）を授与された者、又は外国においてこれに相当する学位を授与された者。</p> <p>（3）（1）、（2）を満たさない者で、大学院修士課程又は博士課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者。</p> <p>3. 次の条件（1）又は（2）のいずれかに該当する者。</p> <p>（1）鳥取県、島根県、岡山県、広島県、兵庫県の高等学校を卒業した者。</p> <p>（2）父母のいずれかの現住所地が鳥取県の者。（父母については義理の父母も含むものとする。）</p> | 無 | R4 | 学士（2年次）編 入学試験 |
| 合計 | | | 41 | 24 | | | | | |

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

1 – 2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和8年度）について、5~6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次に「基礎地域医療学」、3年次に「総合診療-症候学-」、「研究室配属」を行い、4年次には、「臨床地域医療学」「地域医療体験」、そして4年次～6年次に「臨床実習Ⅰ・Ⅱ」を学ぶなど、6年間を通じた地域医療教育プログラムを導入している。
なお、地域医学講座は地域医療教育サテライト施設（日野病院：地域医療総合教育研修センター、大山診療所：家庭医療教育ステーション）を運用している。これらを含む地域の病院・診療所で、地域医療の実習を受けられる機会を確保している。また、キャリア支援として、5年生、6年生の地域枠学生全員に対して、鳥取県地域医療支援センター（附属病院内に設置）と地域医学講座が共同で個別面談を行っている。
令和8年度も、引き続き地域医療教育プログラムを継続し、地域枠学生の教育等に万全を期す。

(参考：記入例)
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。令和8年度からは、■■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成18年度から地域枠（推薦Ⅱ地域枠5名）を設置、平成21年度からは臨時定員の地域枠を設置し、鳥取県の医師確保に取り組んでいる。
令和7年度まで348名の地域枠学生を確保し、そのうち163名が現在鳥取県内の病院等に勤務する医師として地域医療に貢献している。

(参考：記入例)
平成〇年度から地域枠による増員を開始し、□□、■■などの取組を行ってきた。
令和7年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

| 対象学年 | 講義・実習名 | 対象者 (※1) | 必修／選択の別 | | 講義／実習の別 | 単位数 | 開始年度 |
|------|-----------|-------------|---------|--------|---------|------|-------|
| | | | 地域枠学生 | その他の学生 | | | |
| 1年次 | 基礎地域医療学 | 全員 | 必修 | 必修 | 講義 | 0.5 | H30 |
| 3年次 | 総合診療-症候学- | 全員 | 必修 | 必修 | 講義 | 1.5 | H30 |
| 3年次 | 研究室配属 | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 3.5 | H26 |
| 4年次 | 臨床地域医療学 | 全員 | 必修 | 必修 | 講義 | 0.5 | H21以前 |
| 4年次 | 地域医療体験 | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 1 | H21以前 |
| 4年次 | 臨床実習Ⅰα | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 6.5 | H21以前 |
| 5年次 | 臨床実習Ⅰβ | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 28.5 | H21以前 |
| 6年次 | 臨床実習Ⅱ | 全員 | 必修 | 必修 | 実習 | 18 | H21以前 |
| | | | | | | | |

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

| 対象学年 | プログラム名 | 対象者 (※1) | 都道府県との連携 | 期間 (例：○週間) | プログラムの概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|------|--------------------|-------------|----------|---------------|--|-------|
| 1-4年 | だいせん・くろさか春夏秋冬セミナー | 地域枠学生 | なし | 季節ごと、1日ずつ | 医学科、保健学科、YMCA学生が混合でモデル地区（鳥取県大山町、日野町）に行き、地域活動に参加する。 | H25 |
| 全学年 | サマー・セミナー・スプリングセミナー | 地域枠学生 | あり | 夏休み、春休み | 鳥取県内の希望する病院、診療所の見学を行う。 | H21以前 |
| 1-4年 | 家庭医療学テキスト輪読会 | 地域枠学生 | なし | 毎月2回 | 家庭医療テキストを学生と原著で輪読する。 | H28 |
| 1-4年 | 映画鑑賞と地域医療 | 地域枠学生 | なし | 年2回、2日間 | 医療に関する映画鑑賞と地域医療の関連を議論し、レポートする。 | R3 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和7年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

| 取組の名称 | 取組の概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|--------------|--|------|
| インドネシア総合診療研修 | 鳥取大学と連携協定を結んでいるインドネシアのディポネゴロ大学にて家庭医療研修を行う。 | R5 |
| | | |

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携等

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

| 奨学金の設定主体 | 貸与人数 | 貸与対象 | 貸与額（例：200,000） | | 返還免除要件 | 選抜方法 | | 診療科の選定の有無 | (診療科の選定が有る場合)その診療科名 | 備考 | |
|----------|------|------|----------------|------------|--|-----------------------------|--------------|-----------|---------------------|---------------------------------------|--|
| | | | 月額 | 総貸与額 | | 選抜時期 | 大学の関与の有無（※1） | | | | |
| 鳥取県 | 11 | 新入生 | 150,000 | 10,800,000 | 大学を卒業した日の属する年度の翌年度の初日から起算して2年内に医師免許を取得した後、直ちに県内の病院が管理を行う臨床研修を受け、当該臨床研修を開始した日から起算して臨時特例医師確保対策奨学金（以下この項において「奨学金」という。）の貸与を受けた期間の2倍に相当する期間内に、指定病院等において常勤医師としての業務に奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間（以下この項において「免除条件期間」という。）以上通算して従事し、かつ、当該免除条件期間（臨床研修を受ける期間を除く。）内に、知事が指定した区域に所在する指定病院等において4年以上通算して従事したとき。 | ③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与 | × | 無 | | | |
| 鳥取県 | 6 | 新入生 | 150,000 | 10,800,000 | 大学を卒業した日から起算して2年内に医師国家試験に合格し、当該試験に合格した年度の翌年度に医師として県職員に採用され、当該採用された日から起算して緊急医師確保対策奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間を県職員として、勤務命令病院等において医師の業務に従事したとき。 | ①大学における選抜前に都道府県において面接等を実施 | × | 有（推奨） | 内科、総合診療科 | 診療科推奨 | |
| 兵庫県 | 2 | 新入生 | 160,000 | 11,514,800 | 知事は、修学生が次の(1)、(2)のいずれかに該当するに至ったときは、修学資金の返還債務を免除するものとする。 (1) 大学を卒業し医師免許取得後、直ちに医師として指定医療機関に引き続いだ勤務した期間（医師法（昭和23年法律第201号）第16条の2第1項の規定に基づく臨床研修を含む。）が9年間（貸与期間が4年未満の場合には5年間）に達したとき。 (2) (1)に記載の勤務期間中に公務により死亡し、又は公務に起因する心身の故障のため免職されたとき。 | ②大学における選抜と同時に都道府県において面接等を実施 | × | 無 | | 1年生のみ入学金(500,000円)を含む。 | |
| 島根県 | 5 | 新入生 | 100,000 | 10,696,800 | 医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から12年を経過する日までの間に、指定医療機関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて9年間指定医療機関（うち4年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事したとき。 | ③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与 | × | 無 | | 入学金(282,000円)、6年間の授業料(3,214,800円)を含む。 | |

（※1） 診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～2行程度）

| 取組の名称 | 取組の概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|-------------------|--|-------|
| 入学説明会 | 鳥取県と協力し、県内の高等学校へ、入試と連動した地域枠についての概要、奨学金、キャリア形成等の説明を実施している。 | H21以前 |
| 新入生県知事表敬訪問 | 医学科の地域枠新入生が、入学式後に県知事を表敬訪問し決意を新たにする。 | H21以前 |
| サマーセミナー、スプリングセミナー | 鳥取県内の希望する病院、診療所の見学を行う。 | H21以前 |
| 5・6年次学生の面談 | 鳥取県、鳥取大学医学部地域医療学講座及び地域医療支援センターで協力し、臨床研修及び専門研修等に関してキャリア形成支援を実施している。 | H27 |
| 医師のキャリア支援 | 毎年、鳥取県、地域医療支援センターが共同で調査票によって研修状況等を把握し、希望者等の面談を行い、キャリア形成支援を実施している。 | H27 |
| 入学時の制度説明会 | 鳥取県、鳥取大学地域医療学講座及び地域医療支援センターが協力し、地域枠制度ごとに卒業後の奨学金返還免除要件の説明を実施している。 | R4 |
| 地域医療実習（島根県） | 島根県と島根大学が連携して、島根県内地域医療機関での実習を年2回企画。本学在学生も対象とされており、実習終了後は、参加者が一堂に会する意見交換会を実施。 | H21以前 |
| キャリア面談（島根県） | 卒業後は、毎年、（一社）しまね地域医療支援センターが、島根県や本学等と密に連携しながら、地域枠医師と面談を行い、地域勤務とキャリア形成の両立を支援。 | H25 |
| 在学者面談（島根県） | 在学中は、毎年、島根県職員（医師）が学生と面談を行い、キャリア形成を支援。本学の地域医療学講座とも適宜情報を共有。 | H26 |

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

3. 在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援

在学中の地域枠学生に対する大学の相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援についてご記入ください。（都道府県と連携した取組を含む）（1～2行程度）

| 取組の名称 | 取組の概要（1～2行程度） | 開始年度 |
|-------------|--|-------|
| 新入生県知事表敬訪問 | 医学科の地域枠新入生が、入学式後に県知事を表敬訪問し決意を新たにする。 | H21以前 |
| 入学時の制度説明 | 鳥取県、鳥取大学地域医療学講座及び地域医療支援センターが協力し、地域枠制度ごとに卒業後の奨学金返還免除要件の説明を実施している。 | R4 |
| 5・6年次学生の面談 | 鳥取県、鳥取大学医学部地域医療学講座及び地域医療支援センターで協力し、臨床研修及び専門研修等に関してキャリア形成支援を実施している。 | H27 |
| トリノスセミナーの開催 | 鳥取大学医学部地域医療学講座及び地域医療支援センターで協力し、毎月1回開催し地域枠制度説明、キャリアプランニングの支援や地域勤務で必要な技能等のレクチャーを実施。年1回、自治医科大学在学生との合同セミナーを開催。 | R6 |
| キャリア講演会等の開催 | 地域枠医師を講師とした地域枠キャリア講演会やキャリアプランニングセミナーを開催し、卒後のキャリアパスの検討を促す支援を実施している。 | R4 |
| 広報誌の発行と配布 | 地域医療支援センター広報誌「DOCTRI！」を発行・配布し、地域枠先輩医師の活動やキャリアを紹介して、卒後の県内勤務の情報を提供。 | H30 |

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

4. その他

1～3に記入したもの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組予定がありましたら、ご記入ください。

- ・毎年夏・秋に開催される医学科オープンキャンパスでの学内説明や入試制度（入学定員と運動した地域枠）の説明を行っている。
- ・高校生向けの地域医療ワークショップの開催や大学入学前地域医療ツアーの実施と、それらの状況についてメールマガジンやSNS等による情報発信を行い、医学科受験志向者の地域医療への関心を高める。

令和6年10月29日変更版

※学校推薦型選抜II（医学部医学科）について、特別養成枠の増員（募集人員6人）が認可されたことに伴い、内容を一部変更しています。（変更箇所は赤字）

令和7（2025）年度

学校推薦型選抜II 学生募集要項

〔大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜〕

11月出願開始分
(対象: 医学部)

| | |
|--------|---|
| 出願期間 | 令和6年11月 5日（火）～11日（月） ※インターネット出願登録は、令和6年10月30日（水）からできます。 ※締切日の消印有効 |
| 試験日 | 令和6年12月 7日（土） |
| 合格発表 | 令和7年 2月12日（水） |
| 入学手続期限 | 令和7年 2月18日（火） |



2. 募集人員

| 学 科 等 | 募 集 人 員 | |
|-----------|-----------|------------------|
| 医 学 科 | 一般枠 | 15人 |
| | 地域枠 | 5人 |
| | 特別養成枠 | 6人 |
| 生 命 科 学 科 | 5人 | |
| 保健学科 | 看 護 学 専 攻 | 30人（地域枠10人以内を含む） |
| | 検査技術科学専攻 | 13人 |
| 計 | 74人 | |

(注) 合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の合格者で補充します。

ただし、医学科の「地域枠」合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。

3. 出願要件

【医学科】

令和7年度大学入学共通テストを受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

| 出 願 要 件 | |
|---------|--|
| 一般枠 | 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和7年3月31日までに満18歳に達する者で、医学に興味を持ち、人物が優秀で、高等学校等の学習成績概評がA段階に属する者 |
| 地域枠 | <p>次の各号にすべて該当する者</p> <p>(1) 鳥取県内の高等学校を令和5年3月及び令和6年3月に卒業した者（令和4年4月から令和6年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の中ににおいて高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）</p> <p>(2) 医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者</p> <p>(3) 入学後は、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>(4) 卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者</p> <p>(5) 医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者</p> <p>(6) 臨床研修修了後、原則9年以内に鳥取県知事が指定する県内病院等において4年間通算して勤務することを確約できる者</p> |

| |
|---|
| <p>特別養成枠</p> <p>次の（1）から（9）の各号にすべて該当する者</p> <p>（1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和5年3月及び令和6年3月に卒業した者（令和4年4月から令和6年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）で、令和7年度大学入学共通テストを受験する者</p> <p>（2）鳥取県に「鳥取県緊急医師確保対策奨学生」の申請をしている者</p> <p>（3）将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持ち、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>（4）医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者</p> <p>（5）入学後は、鳥取県の奨学生を必ず受給することを確約できる者</p> <p>（6）卒業後は、鳥取県の地域医療に貢献することを確約できる者</p> <p>（7）医師免許取得後、原則9年間鳥取県職員として鳥取県知事が勤務を命ずる県内の病院又は診療所医師の業務に従事することを確約できる者</p> <p>（8）鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者</p> <p>（9）鳥取県キャリア形成プログラムで規定する医療機関及び診療科で医師の業務に従事することを確約できる者</p> |
|---|

(注)1 高等学校等につき卒業見込者の推薦できる人数は、一般枠、地域枠、**特別養成枠**の人数の合計8人以内。
ただし、地域枠**及び特別養成枠**の既卒者については、推薦人数の制限はありません。

○医学科の「地域枠」等の出願について

- ・高等学校の卒業年月と出願区分については、以下のとおりです。

| 卒業年月 | 出願区分 | 一般枠 | 地域枠 (鳥取県内の高等学校に限る) | 特別養成枠 |
|--------------------------|------|-----|-----------------------|-------|
| 令和6年4月～令和7年3月 (卒業見込者) | | ○ | ○ | ○ |
| 令和4年4月～令和6年3月 (既卒者) | | × | ○ | ○ |

- ・卒業見込者は、「一般枠」、「地域枠」、「特別養成枠」、「一般枠と地域枠」、「一般枠と特別養成枠」、「地域枠と特別養成枠」、「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願できます。
既卒者は、「地域枠」、「特別養成枠」、「地域枠と特別養成枠」の区分で出願できます。
- ・出願後に出願区分を変更することはできません。
- ・「地域枠」及び「特別養成枠」は、鳥取県の奨学生と連動しています。奨学生の趣旨をよく理解したうえで、出願してください。(入学後、鳥取県と奨学生の手続きをしていただきます。)
- ・「一般枠と地域枠(併願)」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。(詳細はP.28 参照)

- ・医学科地域枠奨学生制度

| | |
|---------|--|
| 奨学生の額 | 12万円/月（年額144万円） |
| 貸付期間 | 6年間 |
| 返還免除の条件 | ①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②鳥取県の定めるキャリア形成プログラムに沿って、臨床研修期間を含め11年内に知事の指定する鳥取県内医療機関に6年間勤務 ○キャリア形成プログラム（鳥取県地域医療支援センターホームページ） https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikisen/3019/ |
| 勤務先 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学医学部附属病院（小児科・産科・救急科・精神科・外科・整形外科の場合、がん薬物療法専門医、放射線治療専門医又は感染症専門医を取得するための業務又は専門医としての業務に従事する場合は3年を、その他の診療科の場合は1年を上限とする）、救急告示病院（鳥取大学医学部附属病院を除く）、精神科救急医療施設等 |
| 診療科 | 限定しない |

| | |
|------|--|
| 初期研修 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |
| その他 | 在学中、鳥取県の定めるキャリア形成卒前支援プランに参加いただきます。 ○キャリア形成卒前支援プラン（鳥取県地域医療支援センターホームページ） https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/3019/ |

・ 医学科特別養成枠奨学金制度

| | |
|---------|--|
| 奨学金の額 | 15万円/月（年額180万円） |
| 貸付期間 | 6年間 |
| 返還免除の条件 | ①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②鳥取県の定めるキャリア形成プログラムに沿って、医師免許取得後知事が勤務を命ずる鳥取県内医療機関に9年間勤務（臨床研修期間を含む） ○キャリア形成プログラム（鳥取県地域医療支援センターホームページ） https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/3019/ |
| 勤務先 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院（鳥取大学医学部附属病院、国関係機関を除くが、初期研修・後期研修の場合にあってはその限りではない。） |
| 診療科 | 派遣先の病院からの要望状況により診療科が限定される場合あり。 ※原則として「内科、総合診療科」への派遣を想定。 |
| 初期研修 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |
| その他 | 在学中、鳥取県の定めるキャリア形成卒前支援プランに参加いただきます。 ○キャリア形成卒前支援プラン（鳥取県地域医療支援センターホームページ） https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/3019/ |

その他、地域枠奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

○鳥取県ホームページ

<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361>

○奨学金に関する問い合わせ

鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課

電話：0857-26-7195 E-mail：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp

【生命科学科】

令和7年度大学入学共通テストを受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

| 出願要件 |
|---|
| 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和7年3月卒業見込みの者（令和6年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和6年3月に卒業した者（令和5年4月から令和6年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む），あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和7年3月31日までに満18歳に達する者で、生命科学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 |

II. 合否判定方法

| 学部 | 学科等 | 合否判定方法 |
|-----|------------------|---|
| 医学部 | 医学科 | <p>「一般枠」「地域枠」「特別養成枠」のそれぞれの区分で、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠と地域枠」又は「一般枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」又は「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・「地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となります。 ・「一般枠と地域枠と特別養成枠」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「特別養成枠」を優先して選抜し、「特別養成枠」の合格者とならなかった場合、「地域枠」として選抜の対象となり、「地域枠」の合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・「特別養成枠」について、鳥取県緊急医師確保対策奨学生予約奨学生申請の結果、予約奨学生に決定されなかった者は、「特別養成枠」の合格者にはなりません。 ・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。 |
| | 生命科学科 | <p>大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> <p>なお、大学入学共通テストの数学・理科・外国語の合計が概ね70%に満たない場合は、合格者となりえないことがあります。</p> |
| | 保健学科 看護学専攻 | <p>「一般枠」「地域枠」の2つの区分に関わらず、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠と地域枠（併願）」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 |
| | 保健学科 検査技術科学専攻 | <p>大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。</p> |

12. 合格発表

合格発表日時：令和7年2月12日（水）午前10時頃

合格者に「合格通知書」を送付するとともに、鳥取大学ホームページ(<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。（午前10時頃の予定。掲示による合格発表は行わないでの、注意してください。）

合格通知書は、出願時に登録した住所へ送付するため、住所変更等をした場合は、直ちに鳥取大学ホームページ問い合わせフォーム (<https://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/contact-dept>) から、変更内容を連絡してください。

また、合否の結果を高等学校等の長へ文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

試験当日又は前日に、大学周辺や主要駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

令和7（2025）年度

学生募集要項

一般選抜（前期日程・後期日程）



鳥取大学
Tottori University

第2 募集人員

| 学部 | 学科等 | 入学定員 | 募集人員 | | | | | | | | | | | |
|------|-------------|-----------|-------|-----|------|----|-------|----|---------|-----|------|-----|----------|--|
| | | | 前期日程 | | 後期日程 | | 総合型選抜 | | 学校推薦型選抜 | | 帰国生徒 | 社会人 | 私費外国人留学生 | |
| | | | | | | | I | II | I | II | | | | |
| 地域学部 | 地域学科 | 地域創造コース | 60 | 34 | 10 | 10 | 人 | 人 | 6 | 人 | 若干人 | 若干人 | 若干人 | |
| | | 人間形成コース | 55 | 38 | 13 | 4 | | | | | | | | |
| | | 国際地域文化コース | 55 | 30 | 10 | 7 | | | 8 | | | | | |
| | 計 | | 170 | 102 | 33 | 21 | | | 6 | 8 | | | | |
| 医学部 | 医学科 | | 104 | 一般枠 | 58 | | | | | 26 | | | 若干人 | |
| | | | | 地域枠 | 鳥取県枠 | 13 | | | | | | | | |
| | | | | | 兵庫県枠 | 2 | | | | | | | | |
| | | | | | 島根県枠 | 5 | | | | | | | | |
| | 生命科学科 | | 40 | 30 | 5 | | | | | 5 | | | | |
| | 保健学科 | 看護学専攻 | 80 | 45 | 5 | | | | | 30 | | | 若干人 | |
| | | 検査技術科学専攻 | 40 | 22 | 5 | | | | | 13 | | | | |
| | 計 | | 264 | 175 | 15 | | | | | 74 | | | | |
| 工学部 | 機械物理系学科 | | 115 | 70 | 31 | | 10 | 4 | | | 若干人 | 若干人 | 若干人 | |
| | 電気情報系学科 | | 125 | 72 | 31 | | 5 | 5 | 12 | | | | | |
| | 化学バイオ系学科 | | 100 | 55 | 30 | | 10 | | 5 | | | | | |
| | 社会システム土木系学科 | | 110 | 73 | 18 | | 10 | 4 | 5 | | | | | |
| | 計 | | 450 | 270 | 110 | | 35 | 13 | 22 | | | | | |
| 農学部 | 生命環境農学科 | | 220 | 105 | 20 | 12 | | 45 | 38 | 若干人 | 若干人 | | | |
| | 共同獣医学科 | | 35 | 30 | | | | | 5 | | | | | |
| | 計 | | 255 | 135 | 20 | 12 | | 45 | 43 | | | | | |
| 合計 | | | 1,139 | 682 | 178 | 33 | 35 | 64 | 147 | | | | | |

- (注) 1. 帰国生徒選抜及び社会人選抜の募集人員（若干人）は、それぞれの学科等の前期日程の募集人員に含みます。
2. 医学部医学科前期日程の地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）の募集人員は、地域の医師確保のための臨時的な増員分であり、一般枠とは別枠で選抜します。（合否判定方法についてはP.58 参照）
ただし、鳥取県枠の募集人員13人のうち2人は、臨時に増員された定員ではないため、選抜結果によっては一般枠に振り替えることがあります。
3. 医学部保健学科看護学専攻前期日程の募集人員（45人）のうち、10人以内は鳥取県看護職員養成枠として募集します。
4. 医学部医学科学校推薦型選抜には、地域枠推薦及び特別養成枠推薦による募集人員を、医学部保健学科看護学専攻学校推薦型選抜には、地域枠推薦による募集人員を含みます。
5. 総合型選抜及び学校推薦型選抜で合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜の合格者で補充します。
6. 総合型選抜及び学校推薦型選抜「I」は、大学入学共通テストを課さないものであり、「II」は大学入学共通テストを課すものです。

第3 出願資格

次のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テスト（受験科目については、P.16~21の各学部・学科等の指定する教科・科目を参照）を受験した者

1. 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条及び第154条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

（注）上記3の学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせ願います。

（申請期間等は、P.46の「第8 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項」を参照してください。）

●一般選抜（前期日程）で医学部医学科「地域枠」に出願する場合

一般選抜（前期日程）で医学部医学科「地域枠」に出願する場合は、上記の出願資格に加え、志望する県（鳥取県、兵庫県、島根県）が示した出願要件等を満たす必要があります。各県の令和7年度の奨学金制度の趣旨及び確約書（鳥取県・島根県）、県養成医師同意書（兵庫県）の内容を十分に理解のうえ出願してください。出願後に出願区分を変更することはできません。

なお、奨学金制度については、必ず当該県のホームページ等で確認してください。

1. 各県共通出願要件

入学後、県の奨学金を必ず受給し、かつ卒業後は当該県内の医療に従事する強い意志がある者

2. 県別の出願要件（卒業年度・出身地等）

| | 出願要件 |
|-------|---|
| ①鳥取県枠 | <p>次の（1）から（3）の各号にすべて該当する者</p> <p>（1）医学に興味を持ち、人物及び学習成績が優秀な者</p> <p>（2）医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修プログラムを受けることを確約できる者</p> <p>（3）臨床研修開始後、12年以内に、知事の指定する県内医療機関に、9年勤務、かつ、当該期間（9年）のうち知事が指定した区域において4年（臨床研修期間を除く）以上勤務することを確約できる者</p> <p>なお、「卒業年度」及び「出身地・出身高等学校の県内外」を問わない。</p> |
| ②兵庫県枠 | <p>卒業年度を問わない。</p> <p>出身高等学校が兵庫県内に所在すること又は出願時において本人又は保護者が兵庫県に居住していること。</p> |
| ③島根県枠 | <p>卒業年度を問わない。</p> <p>出身地、出身高等学校は県内外を問わないが、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること。</p> |

3. 県別の奨学金制度

・医学科鳥取県枠奨学金制度

| | |
|---------------|--|
| 名称 | 臨時特例医師確保対策奨学金（臨時養成枠） |
| 奨学金の額 | 15万円/月（年額180万円） |
| 貸付期間 | 6年間 |
| 返還免除の条件 | <p>① 卒業から2年以内に医師免許を取得 ② 鳥取県の定めるキャリア形成プログラムに沿って、医師免許取得後、直ちに鳥取県内の病院が管理を行う臨床研修を受け、当該臨床研修開始後、12年内に9年（そのうち鳥取県知事が指定した区域内において4年（臨床研修期間を除く））以上、鳥取県内の指定病院等において医師の業務に従事 ○キャリア形成プログラム（鳥取県地域医療支援センターホームページ） https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/3019/</p> |
| 勤務先 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学医学部附属病院、救急告示病院、精神科救急医療施設等（4年（臨床研修期間を除く））は鳥取県知事が指定した区域で勤務） |
| 診療科 | 限定しない |
| 初期研修 | <p>◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定</p> |
| その他 | <p>在学中、鳥取県の定めるキャリア形成卒前支援プランに参加いただきます。 ○キャリア形成卒前支援プラン（鳥取県地域医療支援センターホームページ） https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/t-chiikicen/3019/</p> |
| ホームページ・問い合わせ先 | <p>奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。 ○鳥取県ホームページ https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=171361 ○鳥取県福祉保健部健康医療局医療政策課 TEL：0857-26-7195 E-mail：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp</p> |

・医学科兵庫県枠奨学金制度

| | |
|---------------|---|
| 名称 | 兵庫県地域医療支援医師修学資金 |
| 奨学金の額 | 入学料（1年次のみ）・授業料等に相当する額 |
| 貸付期間 | 6年間 |
| 返還免除の条件 | <p>① 大学入学時から卒業まで、兵庫県が定める「キャリア形成卒前支援プラン」に参加すること ② 卒業から2年以内に医師免許を取得 ③ その後9年間を兵庫県職員（医師）として、兵庫県が定める「県養成医師キャリア形成プログラム」に沿って知事が指定する医療機関等に勤務</p> |
| 勤務先 | 兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等 |
| 診療科 | 募集時には限定しない。兵庫県内で必要とされる分野については、入学後情報提供を行なう（総合診療、内科、産科、小児科、救急科など） |
| 初期研修 | <p>◆研修先は兵庫県が決定 ◆この期間は返還免除に係る年数として算定</p> |
| ホームページ・問い合わせ先 | <p>奨学金制度の詳細については、兵庫県のホームページ等で確認をしてください。 ○兵庫県ホームページ https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf15/ishisyugakushikin.html ○奨学金に関する問い合わせ 兵庫県保健医療部医務課医療人材確保班 TEL：078-341-7711（内線3230） E-mail：imu@pref.hyogo.lg.jp</p> |

・医学科島根県枠奨学金制度

| | |
|---------------|---|
| 名称 | 医学生地域医療奨学金 |
| 奨学金の額 | 修学費（100,000 円/月），授業料相当額（535,800 円/年）及び入学料相当額（282,000 円/入学時） |
| 貸付期間 | 大学の課程を修了する月まで。ただし、6 年を超えることはできない。 |
| 返還免除の条件 | ① 大学の課程を修了した日から 2 年以内に医師免許を取得 ② 医師国家試験に合格した日の属する月の翌月の初日から、12 年を経過するまでの間に、島根県内の指定医療機関において臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて 9 年間、島根県内の指定医療機関（うち 4 年以上は特定地域医療機関）で医師の業務に従事したとき。 |
| 勤務先 | 島根県内の指定医療機関に勤務（4 年間は特定地域医療機関（松江市・出雲市以外の指定医療機関）に勤務） |
| 診療科 | 限定しない |
| 初期研修 | ◆島根県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 |
| その他 | ① 円滑な県内勤務とキャリア形成との両立をサポートする「一般社団法人しまね地域医療支援センター」に登録していただきます。 (しまね地域医療支援センター https://www.allshimane.jp/) ② 鳥取大学医学部医学科島根県枠の入学者は、円滑な地域勤務と能力の開発・向上が両立できるよう、島根県と一般社団法人しまね地域医療支援センターが策定する「島根県地域勤務医師（地域枠・奨学金貸与医師等）キャリア形成プログラム」に、卒業後、必ず参加していただきます。 (キャリア形成プログラム https://www.allshimane.jp/program/) ③ 鳥取大学医学部医学科島根県枠の入学者は、学生の期間を通じて地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、地域医療に貢献するキャリアを描けるよう島根県が大学の協力を得て策定する「キャリア形成卒前支援プラン」に、在学中、参加していただきます。 (キャリア形成卒前支援プラン https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/career-formation-pre-graduation-support-plan.html) |
| ホームページ・問い合わせ先 | 奨学金制度の詳細については、島根県のホームページ等で確認をしてください。 ○島根県ホームページ https://www.pref.shimane.lg.jp/medical/kenko/iryo/ishikakuhotaisaku/igakuseichiikiiryousyougakukin.html ○奨学金に関する問い合わせ 島根県健康福祉部医療政策課医師確保対策室 TEL : 0852-22-6684 E-mail : iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp |

【医 学 部（前期日程）】

(1) 志望方法

志望は、一つの学科・専攻に限ります。

医学科では、「一般枠（専願）」、「一般枠と鳥取県枠（併願）」、「一般枠と兵庫県枠（併願）」、「一般枠と島根県枠（併願）」、「鳥取県枠（専願）」、「兵庫県枠（専願）」及び「島根県枠（専願）」のいずれかの区分で出願できます。

保健学科看護学専攻では、「一般枠（専願）」、「鳥取県看護職員養成枠（専願）」及び「一般枠と鳥取県看護職員養成枠（併願）」のいずれかの区分で出願できます。

医学科「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」及び保健学科看護学専攻「鳥取県看護職員養成枠」の合格者は入学手続完了後、必ず県の奨学金の受給手続をしていただくことになります。奨学金制度については、必ず当該県のホームページ等で確認してください。

出願後に出願区分を変更することはできませんので、各県の令和7年度の奨学金制度の趣旨及び確約書（医学科鳥取県枠・島根県枠）、県養成医師同意書（医学科兵庫県枠）の内容を十分に理解のうえ出願してください。

(2) 試験方法

大学入学共通テストの成績、個別学力検査等の成績及び調査書等の結果を総合して判定します。

選抜方法と求める能力の関連については、P.4~6を参照してください。

なお、医学科においては、大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が920点満点中613点以上の者を第1段階選抜の合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

医学科の面接試験においては、医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。

医学科の「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を併願する者の合否判定は、「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を優先して行います。「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。

保健学科看護学専攻の「一般枠」と「鳥取県看護職員養成枠」を併願する者の合否判定は、「鳥取県看護職員養成枠」を優先して行います。「鳥取県看護職員養成枠」で合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。

① 個別学力検査等

| 学 科 ・ 専 攻 | | 教 科 ・ 科 目 等 | | 摘 要 |
|-----------|-----------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------|
| 医 学 科 | 数 学 | 数 I ・ 数 II ・ 数 III ・ 数 A ・ 数 B ・ 数 C | | |
| | | 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 | から 2 | |
| | | 外 国 語 | 英語 | |
| | 面 接 | ※ | | |
| | 生 命 科 学 科 | 数 学 | 数 I ・ 数 II ・ 数 III ・ 数 A ・ 数 B ・ 数 C | |
| | | 理 科 | 物理基礎・物理 化学基礎・化学 生物基礎・生物 | から 2 |
| | | 外 国 語 | 英語 | |
| 保 健 学 科 | 看 護 学 専 攻 | 外 国 語 | 英語 | |
| | 検査技術科学専攻 | 数 学 | 数 I ・ 数 II ・ 数 III ・ 数 A ・ 数 B ・ 数 C | 数学及び外国語の2教科から1教科を選択 |
| | | 外 国 語 | 英語 | |

(注) 1. 数学Cでは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」の2分野を出題範囲とします。

2. 英語は「英語コミュニケーションI」、「英語コミュニケーションII」、「英語コミュニケーションIII」、「論理・表現I」、「論理・表現II」、「論理・表現III」を出題範囲とします。

3. 出題は、旧教育課程履修者に不利となるよう配慮します。
4. 医学科及び生命科学科の理科の受験科目については、インターネット出願登録時に「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から2科目を選択してください。なお、出願後に受験科目を変更することはできません。
5. 保健学科検査技術科学専攻の数学及び外国語は、インターネット出願登録時に2教科または1教科を選択してください。なお、両教科を受験した場合は、高得点の教科の成績を用います。また、試験当日に受験する教科を変更することが可能です。

※ 医学科の「地域枠」のうち「兵庫県枠」に出願した者は、本学の面接試験のほか、兵庫県の行う面接が令和7年2月27日(木)にあります。
面接会場等詳細については、第1段階選抜結果通知書送付時にご案内します。(第1段階選抜合格者のみ)

●面接の内容

| 学 科 | 試験科目等 | 内 容 |
|-------|-------|---|
| 医 学 科 | 面 接 | 個人面接によって、社会常識、問題意識、医学を志す動機などについて質問し、その対応などを通じて、医師となるのにふさわしい資質、思考の柔軟性、発言の論理性等を総合的に評価します。 |

② 大学入学共通テストと個別学力検査等の配点

| 学科・専攻 | 試験の区分 | 教 科 等 | | | | | | | | 総計 | 備考 |
|--------------|-----------|-----------|-------|------|-----|-------|-----|-----|----------------|-----|-------|
| | | 国 語 | 地歴・公民 | 数 学 | 理 科 | 外 国 語 | 情 報 | 面 接 | 自己評価シート 調査書 | | |
| 医 学 科 | 大学入学共通テスト | 200 | 100 | 200 | 200 | 200 | 20 | | | 920 | 1,620 |
| | 個別学力検査等 | | | 200 | 200 | 200 | | 100 | | 700 | |
| 生 命 科 学 科 | 大学入学共通テスト | 200 | 100 | 200 | 200 | 200 | 20 | | | 920 | 1,840 |
| | 個別学力検査等 | | | 300 | 300 | 300 | | | | 900 | |
| | 書類審査 | | | | | | | | | 20 | 20 |
| 保健 学 科 | 看護学専攻 | 大学入学共通テスト | 200 | 100 | 100 | 100 | 200 | 20 | | 720 | 930 |
| | | 個別学力検査等 | | | | | 200 | | | 200 | |
| | | 書類審査 | | | | | | | | 10 | 10 |
| 検査技術 科学専攻 | 大学入学共通テスト | 100 | 100 | 200 | 200 | 200 | 20 | | | 820 | 1,030 |
| | 個別学力検査等 | | | *200 | | *200 | | | | 200 | |
| | 書類審査 | | | | | | | | | 10 | 10 |

(注) 1. 配点欄の*印は選択科目を示します。

2. 大学入学共通テストの「英語」の得点は、リーディング(100点満点)の得点を160点満点に、リスニング(100点満点)の得点を40点満点に換算し、換算後の合計得点を「英語」の得点とします。

(リスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)を200点満点に換算したものと「英語」の得点とします。)

5 前期日程合否判定方法

| 学 部 | 学 科 等 | 合 否 判 定 方 法 |
|-------|---------------|---|
| 地域学部 | 地域学科地域創造コース | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 |
| | 地域学科人間形成コース | |
| | 地域学科国際地域文化コース | |
| 医 学 部 | 医学科 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストの教科・科目の合計得点が920点満点中613点以上の者を第1段階選抜の合格者とします。 ・「一般枠」「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」のそれぞれの区分で大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、面接の得点の高い者、さらに同点の場合は、個別学力検査等の合計点の高い者、さらに同点の場合は、大学入学共通テストの数学及び理科の合計点の高い者を上位とし、さらに同点の場合は、調査書等により総合的に判断します。「一般枠」と「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を併願した場合の合否判定方法は、「地域枠（鳥取県枠、兵庫県枠、島根県枠）」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。 |
| | 生命科学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 |
| | 保健学科看護学専攻 | <ul style="list-style-type: none"> ・「一般枠」「鳥取県看護職員養成枠」の2つの区分に関わらず大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は同順位とします。 ・「一般枠」と「鳥取県看護職員養成枠」を併願した場合の合否判定方法は、「鳥取県看護職員養成枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」としての選抜の対象となります。 |
| | 保健学科検査技術科学専攻 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 |
| 工 学 部 | 機械物理系学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 |
| | 電気情報系学科 | |
| | 化学バイオ系学科 | |
| | 社会システム土木系学科 | |
| 農 学 部 | 生命環境農学科 | 大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総合点の高い順に順位付けし、合否を判定します。同点の場合は、同順位とします。 |
| | 共同獣医学科 | |



| 入試区分 | 地域枠の名称 | 県別 | 出願要件 | | | | | |
|------------|------------|----------------|---------|---|--|---|---|---|
| | | | 定員 | 卒業年次 | 出身地等 | その他 | 奨学金の額 | 従事要件 |
| 学校選抜推薦型 | 地域枠 | 鳥取県 | 5人以内 | ①卒業見込み者 ②既卒者も出願可能 (前々年度卒業者 (2浪)まで) | 鳥取県内高校卒業(見込)者 | なし | 12万円/月 (年額144万円) | ①卒業から3年以内に医師免許を取得 ②その後鳥取県内病院での臨床研修期間を含め11年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に6年間勤務 |
| | 特別養成枠 | 鳥取県 | 6人(予定) | ①卒業見込み者 ②既卒者も出願可能 (前々年度卒業者 (2浪)まで) | 鳥取県内高校卒業(見込)者 または鳥取県外高校の卒業(見込)者であっても「鳥取県に縁のある者」であれば出願可能 | 出願にあたってはあらかじめ鳥取県に奨学金の申請を行うことが必要 応募期間:R7年10月頃 面接実施予定日: R7年11月下旬(予定) | 15万円/月 (年額180万円) | ①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②その後9年間を鳥取県職員(医師)として、知事が勤務を命ずる鳥取県内医療機関に勤務(臨床研修期間を含む) |
| 一般選抜(前期日程) | とっとり医療人養成枠 | 鳥取県 | 7人 | 卒業年度を問わない | 出身地、卒業(見込)高校の所在地は問わない | なし | 12万円/月 (年額144万円) | ①卒業から3年以内に医師免許を取得 ②医師免許取得後直ちに臨床研修(鳥取大学医学部附属病院管理)を受け、臨床研修修了後直ちに通算して4年、県内で専門研修(鳥取大学医学部附属病院管理)を受け又は知事が別に定める業務※に従事 ※「知事が別に定める業務」 ○鳥取大学社会医学講座、保健所における公衆衛生に関する業務 ○鳥取大学医学部等における医学の研究 ○鳥取大学地域医療学講座、鳥取県地域医療支援センターにおける医師としての業務 |
| | 地域枠 | 鳥取県 (臨時養成枠) | 11人(予定) | 卒業年度を問わない | 出身地、卒業(見込)高校の所在地は問わない | なし | 15万円/月 (年額180万円) | ①卒業から3年以内に医師免許を取得 ②その後鳥取県内病院での臨床研修期間を含め12年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に9年間勤務。かつこの9年間のうち知事が指定した区域において4年(臨床研修期間を除く)以上勤務 |
| | | 兵庫県 | 2人(予定) | 卒業年度を問わない | 出身高等学校が兵庫県内に所在すること、又は出願時において本人又は保護者が兵庫県内に居住していること | 志願所信書 住民票抄本 兵庫県の面接が別途あり | ・1年次: 2,335,800円/年 〔入学金授業料等 1,035,800円 生活費 1,300,000円〕 ・2~6年次: 1,835,800円/年 〔授業料 535,800円、 生活費 1,300,000円〕 | ①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②その後9年間を兵庫県職員(医師)として、知事が指定する医療機関等に勤務 |
| | | 島根県 | 5人(予定) | 卒業年度を問わない | 出身高等学校は県内外を問わないが、卒業後は離島・中山間地域を含む島根県内の医療機関で勤務し、地域医療に貢献する強い使命感を有していること | ①臨床研修は島根県内病院 ②医師国家試験合格後12年以内に、①の期間を含めて9年間、キャリア形成プログラムで規定する島根県内の指定医療機関(うち4年以上は過疎地域の指定医療機関)に勤務 | ・修学費 100,000円/月 ・授業料相当額 535,800円/年 ・入学金相当額 282,000円/入学時 | ①卒業から2年以内に医師免許を取得 ②医師国家試験合格後12年以内に、島根県内の指定医療機関で臨床研修を受け、かつ、その期間を含めて9年間、島根県内の指定医療機関(うち4年以上は過疎地域の指定医療機関)に勤務 |

※奨学金貸与期間は全て6年間です。奨学金制度の詳細については、必ず該当県のホームページ等で確認してください。

出願期間

32

| 入試区分 | 地域枠の名称 | 県別 | 勤務先 | 勤務先の決定 | 診療科 | 身分 | 初期研修 | 専門研修 |
|------------|----------------|------------|---|--|--|-----------|--|--|
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 地域枠 | 鳥取県 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所・公的病院、鳥取大学医学部附属病院（小児科・産科・救急科・精神科・外科・整形外科の場合は3年、がん薬物療法専門医・放射線治療専門医・感染症専門医を取得するための業務又は当該専門医としての業務に従事した場合は3年、その他の場合は1年を上限とする）、救急告示病院（鳥取大学医学部附属病院を除く）、精神科救急医療施設等 | 各自が選択 ◆返還免除の対象となる6年間の鳥取県内勤務先は、鳥取県がリスト形式で指定する | 限定しない | 各医療機関の職員 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | 各自が選択 鳥取県内の病院での実施を基本とする（専門医取得は任意） |
| | 特別養成枠 | 鳥取県 | 鳥取県内の自治体立病院・診療所・公的病院（鳥取大学医学部附属病院、国関係機関を除くが、初期研修・後期研修の場合にあってはその限りではない） | 鳥取県が決定する ◆奨学金を受給した各医師の配置は本人の希望等を踏まえて、最終的に知事が決定する | 募集時には限定しない。ただし、卒業後の派遣先の診療科は、限定される。診療科については、入学後県が情報提供を行う（原則として内科、総合診療科） | 鳥取県職員 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | ◆研修先は県立病院・鳥取大学医学部附属病院・鳥取市立病院（総合診療科専攻） ◆実施時期、内容については、奨学金を受給した医師の希望を踏まえて、最終的に県が決定する（専門医取得は任意） |
| 一般選抜（前期日程） | NEW とっとり医療人養成枠 | 鳥取県 | 鳥取大学医学部附属病院及び同病院が管理する臨床研修・専門研修における鳥取県内（原則）の関連施設（その他知事が別に定める業務を行う関連機関） | 各自が選択 ◆原則として鳥取大学医学部附属病院が管理する臨床研修・専門研修からそれぞれプログラムを選択 | 限定しない | 各医療機関等の職員 | ◆鳥取大学医学部附属病院が管理するプログラムに限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | ◆鳥取大学医学部附属病院が管理するプログラムに限定 |
| | 地域枠 | 鳥取県（臨時養成枠） | 鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学医学部附属病院、救急告示病院、精神科救急医療施設等（4年間は知事の指定した区域内の指定医療機関） | 各自が選択 ◆返還免除の対象となる9年間の鳥取県内勤務先は、鳥取県がリスト形式で指定する | 限定しない | 各医療機関の職員 | ◆鳥取県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | 各自が選択 鳥取県内の病院での実施を基本とする（専門医取得は任意） |
| | | 兵庫県 | 兵庫県内のへき地等の市町立医療機関等 | 兵庫県が決定する | 募集時には限定しない。兵庫県内で必要とされる診療科については、入学後情報提供を行う（総合診療、内科、産科、小児科、救急科など） | 兵庫県職員 | ◆研修先は兵庫県が決定 ◆この期間は返還免除に係る年数として算定 | 2年間（卒後6～7年目）を兵庫県内の公的医療機関等で実施 ◆研修先は規定内で各自が選択可能 |
| | | 島根県 | 島根県内の指定医療機関に勤務（4年間は過疎地域（松江市・出雲市以外）の指定医療機関に勤務） | 各自が選択 | 限定しない | 各医療機関の職員 | ◆島根県内病院に限定（マッチング参加） ◆この期間は義務年数として算定 | 制度上は規定しない（各自が選択） ◆専門研修を島根県内の指定医療機関で行う場合は、義務年数として算定（ただし、診療行為を行わず専ら研修及び研究する場合を除く） |

| 勤務の例 | | | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 11年目 | 12年目 |
|------------|------------|------------|--|----------|----------|----------|----------|-----|----------|-----|----------|------|----------|----------|
| 学校推薦型選抜Ⅱ | 地域枠 | 鳥取県 | 初期臨床研修 | 県内 | 県内 | | | | | | | 県内 | 県内 | 従事義務終了 |
| | | | この期間（11年間）の間に県内病院での臨床研修を含めて6年間を県内で勤務 | | | | | | | | | | | |
| 一般選抜（前期日程） | 特別養成枠 | 鳥取県 | 初期臨床研修 | 専門研修 | 県内 | 県内 | 専門研修 | 県内 | 県内 | 県内 | 県内 | | | 従事義務終了 |
| | | | この期間（9年間）を県が決定した医療機関で勤務 | | | | | | | | | | | |
| | とっとり医療人養成枠 | 鳥取県 | 初期臨床研修 | 専門研修（県内） | | | | | | | | | | 従事義務終了 |
| 地域枠 | 島根県 | 島根県（臨時養成枠） | 初期臨床研修 | 県内 | 県内 | 県内（指定区域） | 県内（指定区域） | | | | | 県内 | 県内（指定区域） | 県内（指定区域） |
| | | | この期間（12年間）の間に県内病院での臨床研修を含めて9年間を県内で勤務。かつ、この9年間のうち県が指定した区域において4年（臨床研修期間除く）以上勤務 | | | | | | | | | | | |
| | 兵庫県 | 兵庫県 | 初期臨床研修 | 県内 | 県内 | 県内 | 専門研修 | 県内 | 県内 | 県内 | 県内 | | | 従事義務終了 |
| | 島根県 | 島根県 | 初期臨床研修 | 県内 | 県内（過疎地域） | 県内（過疎地域） | 県内（過疎地域） | 県内 | 県内（過疎地域） | 県内 | 県内（過疎地域） | | | 従事義務終了 |

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|------------------------------|--------------------------|-----------|
| 科目コード /Subject Code | M7208048 | ナンバリング /Subject Code | MMCUM2001 |
| 科目名 /Subject Name | 基礎地域医療学 | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 谷口 晋一,孫 大輔,紙本 美菜子,李 瑛,今岡 慎太郎 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 後期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 1 | 開講時期 /Lectures Target | 後期 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 水 3, 水 4 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | | 単位数 /Lecture Form | 0.5 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|---|--|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 谷口 晋一(地域医療学) 孫 大輔(地域医療学) 今岡 慎太郎(地域医療学) 紙本 美菜子(鳥取県地域医療支援センター) 浜田 紀宏(非常勤講師) 佐々木 紀仁(非常勤講師) 井上 和興(非常勤講師) 朴 大昊(非常勤講師) 李 瑛 |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | 担当教員はサテライト医療機関で勤務していることが多く、オフィスアワーについては設けておりません。 質問事項などについてはgoogle formを用いたよろず相談所を作成する予定です。 |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 学務課教務係(me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp) |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 地域医療を理解するために、そこで用いられている理論や実際に地域医療に従事している医師の話を聞くことで、地域医療を理解することを目的としています。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 地域医学の背景、プライマリ・ケア |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 自身の医療体験(患者・家族として)と地域医療の現場で使われる理論を結び付けながら地域医療を理解する |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | 1年次の基礎地域医療学から、3年次の症候学、4年次の地域医療体験実習/臨床地域医療学、そして臨床実習1・2につながっていきます。 |
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | 地域医療学ハンドブック: 君たちは地域医療をどう学ぶか(デザインエッグ社) |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | 対面講義とオンデマンド講義の予定です。 |

| | |
|--|---|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 出席及び授業終了後のレポート 100% |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | 本授業は学期試験が近いシーズンの開講なので、例年試験勉強に忙しいためか、欠席をする学生さんも目立ちます。出席および授業終了後のレポートやオンデマンド講義のレポートの提出をもって評価を行いますので、必ず提出をするようしてください。 キャリアや地域医療における論理についての話題など、今後の医師人生において役立つ内容を提供していきます。 |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性) |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている |
| 実務経験 /Work experience /2者択1 | 有 |

| | |
|--|---|
| 実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内 | 現役の医師が自身の医療経験を活かしながら、地域医療の現場で使われる理論等に関してオンデマンド型講義を行う。 |
|--|---|

授業計画詳細登録/Course schedule

| 回/Times | 授業内容 /Course Contents | 予習・復習内容 /Contents of Preparation／ Review | 備考 /Note |
|---------------------------|---|---|------------------------------------|
| 1[1/7(水)3時限] 【112講義室】 | オリエンテーション なぜ、「地域医療」を学ぶのか？／【キーワード】地域医療学の背景、プライマリ・ケア | 予習: 地域医療学ハンドブックの地域医療の定義の部分を読んでおくこと。復習: 講義中に課題を出します。 | 【担当者】地域医療学・谷口 晋一／対面 |
| 2[1/7(水)4時限] 【112講義室】 | 地域医療はどんな仕組みでやっているの？ パート1 ～ 地域医療に関わる医師を育てる制度を中心～／【キーワード】地域医療構想、医師不足、地域枠制度ほか | 予習: 厚生労働省「医師確保対策」「地域医療構想」についての一般的な事項を知っておくこと。出身地やゆかりのある自治体の医療状況について知っておくこと。 復習: 講義中に課題を出します。 | 【担当者】鳥取県地域医療支援センター・紙本 美菜子／対面 |
| 3[1/14(水)3時限] 【112講義室】 | 地域医療はどんな仕組みでやっているの？ ～医療・保健・福祉における職種とその役割～／【キーワード】医師、看護職、リハビリテーション専門職、薬剤師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、日常生活動作(ADL)、不確実さ | オンデマンド型授業の課題を行ってください。 | 【担当者】(非常勤講師)・浜田 紀宏／オンデマンド学習 |
| 4[1/14(水)4時限] 【112講義室】 | 地域医療に関わる医師の思考に迫ってみよう！パート1 ～臨床推論から治療の決断まで～／【キーワード】臨床推論、治療決断 | オンデマンド型授業の課題を行ってください。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／オンデマンド学習 |
| 5[1/21(水)3時限] 【112講義室】 | 地域医療に関わる医師の思考に迫ってみよう！パート2 ～患者さんのために医療を届けるために～／【キーワード】患者の病い、ナラティブ | オンデマンド型授業の課題を行ってください。 | 【担当者】(非常勤講師)・井上 和興／オンデマンド学習 |
| 6[1/21(水)4時限] 【112講義室】 | 地域医療のキャリアパスパート1／【キーワード】地域医療のキャリアパス | オンデマンド型授業の課題を行ってください。 | 【担当者】(非常勤講師)・朴 大昊／オンデマンド学習 |
| 7[1/28(水)3時限] 【112講義室】 | 地域医療のキャリアパスパート2／【キーワード】地域医療のキャリアパス、僻地と都市の地域医療 | 予習: 働地医療、離島医療、都市部の地域医療について地域医療学ハンドブックの該当箇所を読んでおくこと。復習: 講義中に課題を出します。 | 【担当者】(非常勤講師)・佐々木 紀仁、地域医療学・谷口 晋一／対面 |
| 8[1/28(水)4時限] 【112講義室】 | 「医療」と「地域医療」の同じ点、違う点を言葉にしてみよう！／【キーワード】セミナーの振り返り | 予習は不要です。講義の中で課題を出します。 | 【担当者】地域医療学・孫 大輔、李瑛／オンデマンド学習 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|---|--------------------------|-----------|
| 科目コード /Subject Code | M7208054 | ナンバリング /Subject Code | MMCLM3002 |
| 科目名 /Subject Name | 総合診療-症候学- | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 谷口 晋一,孫 大輔,李 瑛,今岡 慎太郎 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 後期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 3 | 開講時期 /Lectures Target | 後期 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | 専門科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 木 3, 木 4 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | 一般講義 | 単位数 /Lecture Form | 1.5 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | 原則としてmanabaでのオンデマンド授業を実施します。必要に応じて122講義室での対面講義を行う場合があります。 | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|---|---|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 谷口 晋一(地域医療学) |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 0859-38-6661 |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 診断学総論、システム1/2思考 |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 症候学における基本的な思考方法と主要な主訴への対応を理解し、総合診療の現場における総合的な問題に模擬的に取り組むことができる |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | |
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | <ul style="list-style-type: none"> ・誰も教えてくれなかった診断学 ・The 臨床推論 研修医よ、診断のプロをめざそう! ・ジェネラリストのための内科診断リファレンス ・医学生からの診断推論 ・診断戦略: 診断力向上のためのアートとサイエンス ・地域医療学ハンドブック: 君たちは地域医療をどう学ぶか」(デザインエッジ社, 2022年) |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | 原則としてmanabaでのオンデマンド授業を実施します。必要に応じて122講義室での対面講義を行う場合があります。 |

| | | |
|--|---|--|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 各講義毎に課すレポート50%、試験50% | |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | | |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | | |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | 現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力) | |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている | |
| 実務経験 /Work experience /2者択1 | 有 | |

| | |
|--|-------------------------------------|
| 実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内 | 総合診療医による講義やレポートを通し、実臨床に近い形で症候診断を学ぶ。 |
|--|-------------------------------------|

授業計画詳細登録/Course schedule

| 回/Times | 授業内容 /Course Contents | 予習・復習内容 /Contents of Preparation／ Review | 備考 /Note |
|-------------------------|---|---|--|
| 1[10/2(木)3時限]【122講義室】 | オリエンテーション／【キーワード】診断学総論、システム1/2思考 | 症候をテーマに学ぶことと、医師の診療の関連性について考えておく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パターン2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 2[10/2(木)4時限]【122講義室】 | 風邪症状を持つ患者のみかた／【キーワード】解剖×病態生理アプローチ、痛みのOPQRST | 自分がかぜを引いたときの対応や、受けた投薬について思い出しておく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 3[10/9(木)3時限]【122講義室】 | 頭痛患者のみかた／【キーワード】Red flag sign、VINDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable) | 第1回・第2回の内容を復習しておく。復習した内容を頭痛の患者の時にどのようにその知識を使うことができるか、考えてくる。 | 【担当者】地域医療学 (非常勤講師)・井上 和興／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 4[10/9(木)4時限]【122講義室】 | 胸痛患者のみかた／【キーワード】心原性・非心原性胸痛、INDICATE, 3つのC (Critical, Common, Curable) | 第1回・第2回の内容を復習しておく。復習した内容をの胸痛患者の時にどのようにその知識を使うことができるか、考えてくる。 | 【担当者】地域医療学 (非常勤講師)・井上 和興／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 5[10/23(木)3時限]【122講義室】 | 意識障害患者のみかた／【キーワード】救急におけるカルテの書き方とプレゼンテーション、意識障害の定義、鑑別 | 意識障害とはどのような状態を指し、どのように意識レベルを確認すれば良いのか予習しておく。 | 【担当者】地域医療学・中井 翼／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 6[10/23(木)4時限]【122講義室】 | ショック患者のみかた／【キーワード】救急におけるカルテの書き方とプレゼンテーション、ショックの定義、鑑別 | ショックとはどのような状態を指すのか予習しておく。 | 【担当者】地域医療学・中井 翼／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 7[11/27(木)3時限]【122講義室】 | 発熱患者のみかた／【キーワード】認知バイアス、問診の仕方、感染性・非感染性発熱、VINDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable) | 発熱の症状を認める疾患をできるだけ多く書き出していく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 8[11/27(木)4時限]【122講義室】 | 発熱患者のみかた／【キーワード】認知バイアス、問診の仕方、感染性・非感染性発熱、VINDICATE、3つのC(Critical, Common, Curable) | 発熱の症状を認める疾患をできるだけ多く書き出していく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 9[12/4(木)3時限]【122講義室】 | 失神患者のみかた／【キーワード】症例プレゼンテーションの仕方、失神と意識障害、心原性・貧血・痙攣・神経調節性失神など | 「失神」という言葉の定義、失神の主な原因疾患について予習しておく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 10[12/4(木)4時限]【122講義室】 | めまい患者のみかた／【キーワード】症例プレゼンテーションの仕方、前失神、回転性、平衡障害、浮動性、急性重度、反復性頭位、反復性 | 「めまい」という訴えはどのような状態で、めまいにはどのような原因が最も多いのか予習しておく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 11[12/11(木)3時限]【122講義室】 | 咽頭痛患者のみかた／【キーワード】killer Sore Throat | 予習:咽頭痛の鑑別について。復習:検査や治療について(講義で触れないで臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | 【担当者】地域医療学・三原 周／(対面可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パターイ2遠隔(オンデマンド学習)) |

| | | | |
|-------------------------|--|---|--|
| 12[12/11(木)4時限】【122講義室】 | 咳・痰患者のみかた／【キーワード】感度、特異度、ベイズの定理、グラム染色、呼吸音 | 予習：咳嗽の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないで臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | 【担当者】地域医療学・三原 周／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 13[12/18(木)3時限】【122講義室】 | 腹痛患者のみかた／【キーワード】体性痛、内臓痛、放散痛、カルテの書き方 | 予習：腹痛の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないで臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | 【担当者】地域医療学・中井 翼／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 14[12/18(木)4時限】【122講義室】 | 嘔気・嘔吐患者のみかた／【キーワード】Reg flag sign、カルテの書き方 | 予習：嘔気・嘔吐の鑑別について。復習：検査や治療について(講義で触れないで臓器別の講義などを参考にするといいと思います) | 【担当者】地域医療学・中井 翼／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 15[12/25(木)3時限】【122講義室】 | 腹痛のある女性患者のみかた／【キーワード】女性診察の特徴、カルテの書き方(現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、身体所見、システムレビュー) | 予習：月経の仕組みや実際について当事者でなくても理解しておく。復習：腹痛全般と合わせた鑑別疾患を整理し、産婦人科疾患各論についての知識も補充する。 | 【担当者】鳥取県地域医療支援センター・紙本 美菜子／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 16[12/25(木)4時限】【122講義室】 | 腹痛のある小児患者のみかた／【キーワード】小児診察の特徴、カルテの書き方(現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、身体所見、システムレビュー) | 予習：小児診療一般、母子保健、予防接種についての基礎知識を予習しておく。復習：小児科疾患各論についての知識の補充など | 【担当者】鳥取県地域医療支援センター・紙本 美菜子／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 17[1/8(木)3時限】【122講義室】 | 食欲不振患者のみかた／【キーワード】健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health: SDH)、MEALS ON WHEELS | 食欲不振の鑑別診断について予習しておく。特にSDH(健康の社会的決定要因)も関係するので、これについても予習しておく。 | 【担当者】地域医療学・孫 大輔／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 18[1/8(木)4時限】【122講義室】 | 体重減少・るいそとのある患者のみかた／【キーワード】健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health: SDH)、MEALS ON WHEELS | 体重減少の鑑別診断について予習しておく(MEALS ON WHEELSなど)。 | 【担当者】地域医療学・孫 大輔／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 19[1/15(木)3時限】【122講義室】 | 認知機能が低下した患者のみかた／【キーワード】場に応じたプレゼンテーション(入院時、救急現場、エレベーター・ピッチ)、意識障害と認知機能低下、認知機能低下患者との対話 | 認知症は物忘れと同義ではないことを知っていたら、「認知症 健康長寿ネット」と入力して検索し、記事に目を通しておくこと。 | 【担当者】地域医療学(非常勤講師)・浜田 紀宏／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 20[1/15(木)4時限】【122講義室】 | 歩行障害のある患者のみかた／【キーワード】場に応じたプレゼンテーション(入院時、救急現場、エレベーター・ピッチ)、意識障害と認知機能低下、認知機能低下患者との対話 | VINDICATE-P、OPQRSTに関して：皆さんのパソコンまたはモバイルで記事や文献を複数検索し、概要を知っておくこと。 | 【担当者】地域医療学(非常勤講師)・浜田 紀宏／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 21[1/22(木)3時限】【122講義室】 | 関節痛のある患者のみかた／【キーワード】場に応じたプレゼンテーション(学会、回診時)、関節痛の分類(単関節痛、多関節痛、初回、再発) | 関節痛の鑑別について予習しておく。高頻度の疾患、緊急で対処が必要な疾患を理解する。 | 【担当者】地域医療学・谷口 晋一／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 22[1/22(木)4時限】【122講義室】 | 浮腫のある患者のみかた／【キーワード】場に応じたプレゼンテーション(学会、回診時)、浮腫の分類(全身性、限局性、圧痕性、非圧痕性) | 浮腫の鑑別について予習しておく。高頻度の疾患、緊急で対処が必要な疾患を理解する。 | 【担当者】地域医療学・谷口 晋一／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 23[1/29(木)3時限】【122講義室】 | まとめ／【キーワード】症候学全体の振り返り | 第1～22回までの講義内容について振り返っておく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 24[1/29(木)4時限】【122講義室】 | まとめ／【キーワード】症候学全体の振り返り | 第1～22回までの講義内容について振り返っておく。 | 【担当者】地域医療学・今岡 慎太郎／(対面可:パター2遠隔(オンデマンド学習)、対面不可:パター2遠隔(オンデマンド学習)) |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------|
| 科目コード /Subject Code | M7205029 | ナンバリング /Subject Code | MMRES4301 |
| 科目名 /Subject Name | 研究室配属 | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | Assignment to a research laboratory | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 海藤 俊行,高橋 洋一 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 後期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 3 | 開講時期 /Lectures Target | 後期 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | 専門科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 他 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | 一般講義 | 単位数 /Lecture Form | 3.5 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|---|---|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 海藤 俊行(解剖学) 総合研究棟3階 解剖学講座(研究室1) 高橋 洋一(医学教育学) 総合教育棟2F(学部教育支援室) |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | 月曜日1時限 |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 0859-38-6438 (学部教育支援室) |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 基礎医学、臨床医学等の教室で4週間に渡り研究に従事して、研究の意義、科学的思考法、研究手法について学修する。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 研究、実験、プレゼンテーション、レポート作成 |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 配属された教室で研究に従事することにより、リサーチマインドを身につける。 |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | |
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | なし |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | |

| | |
|--|---|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 実習科目であるので、全出席を原則とする。実習態度、プレゼンテーション、レポートなどを元に評価する。 |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | <p>授業内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 研究テーマと研究計画は、各配属先にて学生の希望を加味しつつ調整、決定される。 時限数 4時限×19回(4週間) = 76時限(10月28日～11月22日の月曜日～金曜日) <p>〈到達目標〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 医学的な問題に関心を持ち、研究テーマを見出すことができる。 自主的かつ積極的に研究に取り組むことができる。 実験の計画、準備、実施を自ら行うことができる。 得られたデータを解析し、発表(プレゼンテーション、レポート作成)することができる。 小グループの中で協調性を發揮し、仲間と協力して研究を進めることができる。 <p>発表会</p> <p>※正式な日程は定期試験の日程が決まる12月以降に周知します。 参考までに最近3年間は2/28(2/29)に実施しています。再試験が終了したあと2月の下旬頃に実施する予定ですので、参加できるように予定を空けておいてください。</p> <p>予習・復習内容:</p> <p>各配属先で指示された研究に関する予習復習を行うこと。</p> <p>担当者:</p> <p>配属先の講座・分野・診療科教員</p> |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力) |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる |
| 実務経験 /Work experience /2者択1 | 有 |

実務経験と授業科目の関係性
 /Relationship between the work experience and the course
 /4000文字以内

研究医や臨床医がその経験を生かして、研究を指導する。

授業計画詳細登録/Course schedule

| 回/Times | 授業内容 /Course Contents | 予習・復習内容 /Contents of Preparation／ Review | 備考 /Note |
|-------------------|--------------------------|---|----------------------|
| 1[10/27(月)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 2[10/28(火)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 3[10/29(水)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 4[10/30(木)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 5[10/31(金)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 6[11/4(火)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 7[11/5(水)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 8[11/6(木)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 9[11/7(金)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 10[11/10(月)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 11[11/11(火)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 12[11/12(水)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 13[11/13(木)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 14[11/14(金)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 15[11/17(月)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 16[11/18(火)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 17[11/19(水)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 18[11/20(木)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 19[11/21(金)1~4時限] | 「授業計画」参照 | 「授業計画」参照 | |
| 20[未定] | 発表会(「授業計画」参照) | 「授業計画」参照 | 【担当者】解剖学講座・学部教育支援室教員 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|------------|--------------------------|-----------|
| 科目コード /Subject Code | M7208058 | ナンバリング /Subject Code | MMCUM3001 |
| 科目名 /Subject Name | 臨床地域医療学 | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 谷口 晋一,孫 大輔 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 前期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 4 | 開講時期 /Lectures Target | 前期 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | 専門科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 木 1 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | 一般講義 | 単位数 /Lecture Form | 0.5 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|---|--|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 谷口 晋一(地域医療学) 孫 大輔(地域医療学) |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | 9:00～17:00 |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 0859-38-6661 地域医療学講座 |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 地域医療およびプライマリ・ケアに必要な家庭医療・地域包括ケアの考え方を理解し説明できる。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 以下の事項に関して理解し、概説できる：地域医療、家庭医療、プライマリ・ケア、在宅医療、高齢者医療など |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | 同学年前期の「地域医療体験実習」とも関連する内容となる |
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | 「地域医療学ハンドブック：君たちは地域医療をどう学ぶか」(デザインエッグ社, 2022年) ※できるだけ各自、購入すること |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | |

| | | |
|--|---|--|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 毎回の講義を受講したのち、manabaにて公開する指定シートにレポートを記入する。複製不可。指定日の期限までにかならず入力を終了すること。 定期試験は実施しない。評価は各講義の課題レポートでおこなう。 | |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | 毎回、地域医療に関わるさまざまな講師が授業をします。楽しみながら、しっかりと学んでください。 | |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | | |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性) | |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている | |
| 実務経験 /Work experience /2者選択 | 有 | |

実務経験と授業科目の関係性
/Relationship between the work experience and the course
/4000文字以内

現役の医師、保健行政担当者などが当該領域の基本的知識、実践方法に関して講義する。

授業計画詳細登録/Course schedule

| 回/Times | 授業内容 /Course Contents | 予習・復習内容 /Contents of Preparation／ Review | 備考 /Note |
|-----------------------|---|---|--|
| 1[6/5(木)1時限]【431講義室】 | プライマリ・ケアと地域医療／【キーワード】地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア | 地域医療学の定義・理念(地域医療とは何か)を学習する。「地域医療学ハンドブック」第1～3章を予習および復習にあてる(約1時間)。 | 【担当者】地域医療学・谷口 晋一／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| 2[6/12(木)1時限]【431講義室】 | 患者中心の医療の方法／【キーワード】患者中心の医療、疾患(Disease)と病い(Illness)、コンテクスト、解釈モデル(説明モデル)、共通の理解基盤 | 「患者中心の医療」の実践モデルである「患者中心の医療の方法」について、事例に基づいて学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてる(約1時間)。 | 【担当者】岡山大学(非常勤講師)・横田 雄也／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| 3[6/19(木)1時限]【431講義室】 | 地域志向のプライマリ・ケア／【キーワード】地域志向性アプローチ、地域包括ケア、在宅ケア、地域診断、社会的処方 | 総合診療医が実践する地域志向性アプローチを学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてる(約1時間)。 | 【担当者】地域医療学・孫 大輔／(対面可:対面、対面不可:パターン2遠隔(オンデマンド学習)) |
| 4[6/26(木)1時限]【431講義室】 | 生物心理社会モデルと不確実性への対処／【キーワード】地域医療、家庭医療学、プライマリケア、生物心理社会モデル(BPSMモデル)、複雑性・不確実性への対処 | 総合診療医が実践する生物心理社会モデルと複雑性・不確実性への対処について学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてる(約1時間)。 | 【担当者】地域医療学・大塚 裕眞／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| 5[7/3(木)1時限]【431講義室】 | 地域社会の高齢化に対応できる医療システムの構築／【キーワード】高齢者医療、老年症候群、フレイル、ポリファーマシー | 高齢者医療の特徴を理解し、医療システムとして展開する方策を考える。プライマリ・ケアにおける老年病学について予習および復習すること(約1時間)。 | 【担当者】東京都健康長寿医療センター(非常勤講師)・秋下 雅弘／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| 6[7/10(木)1時限]【431講義室】 | プライマリ・ケアと家庭医療／【キーワード】家庭医療学、プライマリケア、患者中心の医療の方法、家族志向のケア、行動変容アプローチ | 家庭医療の概念と方法論(PCCM、家族志向のケア、行動変容アプローチ)を学習する。「地域医療学ハンドブック」第5章の該当部分を予習および復習にあてる(約1時間)。 | 【担当者】奈義ファミリークリニック(非常勤講師)・松下 明／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| 7[7/17(木)1時限]【431講義室】 | 保健行政と地域医療／【キーワード】離島・へき地医療、保健医療行政、公衆衛生 | 離島で住民を支えるために医師として何が必要かを考える。離島・へき地医療に関する保健行政・公衆衛生について予習および復習すること(約1時間)。 | 【担当者】島根県健康福祉部 健康推進課(非常勤講師)・片岡 大輔／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| 8[7/17(木)2時限]【431講義室】 | プライマリ・ケアと地域医療／【キーワード】地域医療、家庭医療学、地域包括医療、プライマリケア | 地域医療における総合診療医の役割を理解する。地域医療を構成する要素・構造・考え方について学習する。「地域医療学ハンドブック」の該当箇所について予習および復習にあてる(約1時間)。 | 【担当者】地域医療学・谷口 晋一／(対面可:対面、対面不可:パターン3遠隔(リアルタイム学習)) |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|---|--------------------------|------|
| 科目コード /Subject Code | M7208073 | ナンバリング /Subject Code | |
| 科目名 /Subject Name | 臨床実習 I β | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 植木 賢,花木 武彦 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 前期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 5 | 開講時期 /Lectures Target | 通年 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | 専門科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5, 火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5, 木 1, 木 2, 木 3, 木 4, 木 5, 金 1, 金 2, 金 3, 金 4, 金 5 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | 実験実習 | 単位数 /Lecture Form | 28.5 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|--|---|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 植木 賢(学部教育支援室長) |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員(臨床実習生(医学))として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クーラー・シップと呼ばれる。クリニカル・クーラー・シップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしっかりと理解しておかなければならぬ。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 「クリニカルクーラー・シップの手引き」の各診療科のページを参照。 |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | |

| | |
|---|---------------------------------|
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。 |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | 実習 |

| | |
|--|---|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。 |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | 正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない。 |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | <p>授業内容: 第一内科診療科群、第二内科診療科群、第三内科診療科群、精神科、小児科、第一外科診療科群、心臓血管外科、胸部外科診療科群、整形外科、泌尿器科、眼科、頭頸部診療科群、放射線診療科群、女性診療科群(産科婦人科)、救急科、神経内科、脳神経外科、の17診療科を各2週間ずつ、皮膚科、麻酔診療科群、血液内科(臨床検査医学)、脳神経小児科、病理診断科、感染症内科、地域医療の7診療科を各1週間ずつ、歯科口腔外科及び形成外科を併せて1週間の全42週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。</p> <p>予習・復習内容: 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照にして、教科書等をよく読み事前に調べておくこと。実習後も理解を深めるために復習に励むこと。</p> <p>担当者: 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。</p> <p>期間: <small>詳細は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照</small> 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性)</p> |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている |
| 実務経験 /Work experience /2者択1 | 有 |

実務経験と授業科目の関係性 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。
/Relationship between the work experience and the course
/4000文字以内

授業計画詳細登録/Course schedule

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|------------|--------------------------|------|
| 科目コード /Subject Code | M7208072 | ナンバリング /Subject Code | |
| 科目名 /Subject Name | 臨床実習 I α | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 植木 賢,花木 武彦 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 後期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 4 | 開講時期 /Lectures Target | 後期 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | 専門科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 他 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | 実験実習 | 単位数 /Lecture Form | 6.5 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|---|--|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 植木 賢(学部教育支援室長) |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員(臨床実習生(医学))として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クラークシップと呼ばれる。クリニカル・クラークシップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしっかりと理解しておかなければならない。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。 |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | |
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。 |

授業の形式
/Classwork
/4000文字以内

実習

| | |
|--|--|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。 |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | 正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない。 |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | <p>授業内容: 第一内科診療科群、第二内科診療科群、第三内科診療科群、精神科、小児科、第一外科診療科群、心臓血管外科、胸部外科診療科群、整形外科、泌尿器科、眼科、頭頸部診療科群、放射線診療科群、女性診療科群(産科婦人科)、救急科、神経内科、脳神経外科、の17診療科を各2週間ずつ、皮膚科、麻酔診療科群、血液内科(臨床検査医学)、脳神経小児科、病理診断科、感染症内科、地域医療の7診療科を各1週間ずつ、歯科口腔外科及び形成外科を併せて1週間の全42週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。</p> <p>予習・復習内容: 「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照にして、教科書等をよく読み事前に調べておくこと。実習後も理解を深めるために復習に励むこと。</p> <p>担当者: 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。 詳細は「クリニカルクラークシップの手引き」の各診療科のページを参照。</p> |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性) |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている |
| 実務経験 /Work experience /2者択1 | 有 |

| | |
|--|----------------------------------|
| 実務経験と授業科目の関係性 /Relationship between the work experience and the course /4000文字以内 | 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。 |
|--|----------------------------------|

授業計画詳細登録/Course schedule

授業基本情報/Course base information

| | | | |
|--------------------------------|---|--------------------------|-----------|
| 科目コード /Subject Code | M7208063 | ナンバリング /Subject Code | MMCLC4302 |
| 科目名 /Subject Name | 臨床実習Ⅱ | | |
| 英文科目名 /Subject English Name | | | |
| 担当教員 /Teacher Name | 谷口 晋一,孫 大輔,山崎 章,植木 賢,花木 武彦,李 瑛 | | |
| クラス /Class | | 開講学期 /Class | 前期 |
| 対象学年 /Lectures Target | 6 | 開講時期 /Lectures Target | 通年 |
| 講義室 /Room | | 科目区分 /Room | 専門科目 |
| 曜日・時限 /Week・Hour | 月 1, 月 2, 月 3, 月 4, 月 5, 火 1, 火 2, 火 3, 火 4, 火 5, 水 1, 水 2, 水 3, 水 4, 水 5, 木 1, 木 2, 木 3, 木 4, 木 5, 金 1, 金 2, 金 3, 金 4, 金 5 | 単位区分 /Week・Hour | 必修 |
| 授業形態 /Lecture Form | 実験実習 | 単位数 /Lecture Form | 18.0 |
| 準備事項 /Matter of Prepare | | | |
| 備考 /Note | | | |

授業概要情報/Course description

| | |
|--|---|
| 担当教員所属・研究室 /Department/Center and Room /4000文字以内 | 谷口 晋一(地域医療学) |
| オフィスアワー /Office Hours /4000文字以内 | |
| 担当教員への連絡方法 /Contact Details /4000文字以内 | 学務課教務係 me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp |
| 授業の目的と概要 /Course Description and Outline /4000文字以内 | 従来の臨床実習は、学生が医師の診療を見学するだけの「見学型」、あるいは、学生が患者さんを相手に医療面接や身体診察を行ってはいても、それらの行為はあくまでも診療の枠外で行われる「模擬診療型」の実習であった。これに対して、新しい臨床実習の形態は、学生も診療チームの一員(臨床実習生(医学))として診療業務を担当しながら学んでいく「診療参加型」の実習で、このような臨床実習はクリニカル・クーラー・シップと呼ばれる。クリニカル・クーラー・シップでは、指導医師の指導あるいは監視のもとに、学生も、許容された一定範囲の医行為を行う。診療参加型実習によって大きな教育効果が期待される一方で、診療チームの一員として診療に参加し、一定範囲の医行為を行うということは、学生も医療従事者として、義務、責任を負うということをしっかりと理解しておかなければならぬ。一部の診療科では見学型あるいは模擬診療型実習が行われるが、その場合でも、自分が医療従事者の一人であることを決して忘れず、常に責任ある行動をとることが求められる。 |
| キーワード /Keywords /4000文字以内 | 「クリニカルクーラー・シップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。 |
| 到達目標 /Objectives /4000文字以内 | 患者情報の収集、記録、診断、治療計画について学ぶ。患者との信頼関係に基づいた医療面接と診察法を学ぶ、基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法を学ぶ。基本的内科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的な精神症状の評価の仕方、面接法、治療を学ぶ。基本的小児科疾患を受け持ち、症候・病態、診断、治療と予後を学ぶ、基本的外科疾患を受け持ち、外科的治療を学ぶ。基本的産婦人科疾患を受け持ち、女性の健康問題、症候、診断、治療と予後を学ぶ、診療チームの一員として救急医療に参加する、地域社会(へき地・離島を含む)で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して、各々の実態や連携の必要性を学ぶ |
| 他の科目との関連 /Prerequisite /4000文字以内 | |

| | |
|---|--|
| 教科書(テキスト)・参考書 /Textbooks and Bibliography /4000文字以内 | 「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。 |
| 授業の形式 /Classwork /4000文字以内 | 実習 |

| | |
|--|---|
| 成績の評価方法と基準 /Assessment /4000文字以内 | 全実習科共通の評価シートにて評価する。なお、全実習科・実習施設について全出席であることを単位認定の前提条件とする。 |
| 担当教員からのメッセージ /Message from the Teacher /4000文字以内 | 正当な理由なき欠席、遅刻、早退は認められない |
| 授業計画(コマ単位で記入できない科目:卒業研究や実習など) /The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc. /4000文字以内 | <p>授業内容: 鳥取大学医学部附属病院の診療科あるいは大学が指定する学外施設から実習科・実習施設を選択し、計24週間の実習を行う。 各実習の内容は「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。</p> <p>予習・復習内容: 各専門分野の疾患の診断・治療について推奨されたテキストで予習復習をおこなうこと。</p> <p>担当者: 学部教育支援室及び各診療科の全教員が担当する。</p> <p>期間: 24週</p> <p>詳細は「クリニカルクラークシップの手引き 別冊」の各実習プログラムのページを参照。</p> |
| 教育グランドデザインとの関連 /Educational Grand Design /4000文字以内 | 現代的教養(文化・社会・自然に関する幅広い知識)、現代的教養(特定の専門分野に関する理解)、現代的教養(論理的な課題探求と解決力)、現代的教養(創造性に富む思考力)、人間力(自律性に基づく実行力)、人間力(多様な環境下での協働力)、人間力(高い倫理観と市民としての社会性) |
| ディプロマ・ポリシーとの関連 /Diploma Policy /4000文字以内 | 1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている |
| 実務経験 /Work experience /2者択1 | 有 |

実務経験と授業科目の関係性 現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する実習を行う。
/Relationship between the work experience and the course
/4000文字以内

授業計画詳細登録/Course schedule

第202500121994号
令和7年8月7日

厚生労働省医政局長 様

鳥取県福祉保健部長
(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和7年8月5日付け7文科高第666号、医政発0805第5号に基づき、下記のとおり、令和8年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

今後、地域の医師確保等に関する計画に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

- 1 増員数
17名
・鳥取大学医学部における地域枠：17名

(担当)
福祉保健部健康医療局医療政策課
医療人材確保室 濱崎
電話番号：0857-26-7195
メールアドレス：ishikakuho@pref.tottori.lg.jp



(公印省略)
医第2479号
令和7年8月8日

厚生労働省医政局長 殿

兵庫県知事 齋藤 元彦

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和7年8月5日付け7文科高第666号、医政発0805第5号に基づき、下記のとおり、令和8年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

16名

- ・神戸大学医学部における地域枠：10名
- ・鳥取大学医学部における地域枠：2名
- ・岡山大学医学部における地域枠：2名
- ・兵庫医科大学医学部における地域枠：2名

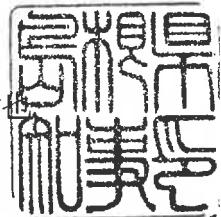
担当：保健医療部医務課医療人材確保班 河野
電話番号：078-341-7711（内線2729）

写

医第679号
令和7年8月8日

厚生労働省医政局長様

島根県知事 丸山 達也



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和7年8月5日付け7文科高第666号、医政発0805第5号に基づき、下記のとおり、令和8年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。
地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

17名

- ・島根大学医学部における地域枠：12名
- ・鳥取大学医学部における地域枠： 5名

担当 当：島根県健康福祉部医療政策課
医師確保対策室 田中 絵美
電話番号：0852-22-5251
メールアドレス：iryou-ishi@pref.shimane.lg.jp

別記様式第2号（その2の1）

(用紙 日本産業規格A4縦型)

| 教育課程等の概要 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|---|---------|------|--------|-----|----|----|------|-----|-----------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---|
| 科目区分 | | 授業科目的名称 | 配当年次 | 主要授業科目 | 単位数 | | | 授業形態 | | | 基幹教員等の配置 | | | | 備考 | |
| 必修 | 選択 | | | | 講義 | 演習 | 実習 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | 基幹教員以外の教員 | | | |
| 入門科目 | 大学入門ゼミ 情報リテラシー キャリア入門 データサイエンス入門 | 1前 | | 0.5 | | | ○ | | | 4 0 3 0 0 | 3 0 0 0 0 | 2 0 2 0 0 | 5 0 2 0 0 | 0 1 3 2 | オムニバス オムニバス メディア | |
| | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | | |
| | | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | |
| | | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | | |
| 主題科目 | 小計(4科目) | | — | — | 4.5 | 0 | 0 | — | | 7 | 3 | 2 | 7 | 0 | 8 | |
| | (人間と文化) | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | 1 1 1 0 0 0 0 | 0 0 0 1 1 0 0 | 0 0 1 0 0 0 0 | 0 0 0 0 0 0 0 | 0 1 5 0 1 5 1 | オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス |
| | 基礎手話言語 | | 1後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 医療手話言語 | | 1後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 日本の文化と心 | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 日本のポップカルチャー | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 法学 | | 2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 社会福祉援助論 | | 1後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 囲碁入門 | | 1後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | (人間と科学) | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | プログラミング入門 | | 1後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | (世界と地域) | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 島取県学～島取県の歴史・自然からB級グルメまで～ | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | スポーツと地域振興 | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 「民藝」という美学 | | 1・2後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | (教養ゼミナール) | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 教養ゼミナール(1) 「科学ニュースを読もう」 | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 教養ゼミナール(1) 「研究の始め方、進め方、論文の出し方」 | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 教養ゼミナール(2) 「医事・医療に役立つ人文科学の知識」 | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | (キャリア科目) | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | (人文・社会分野) | | 1・2後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 生活と法律 刑法 | | 1・2後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 哲学・倫理学 | | 1・2後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 英文学 | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 経営学入門 | | 1・2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 政治学 | | 1・2後 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 心理学 | | 2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 生命倫理学 | | 2前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| 全学共通科目 | (自然分野) | | 1前 | ○ | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 基礎生物学 | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 基礎物理学 | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 基礎化学 | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 基礎数学 | | 1前 | | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | (実験演習分野) | | 1前 | ○ | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 早期体験・ボランティア | | 1前 | ○ | 2 | | | ○ | | | | | | | | |
| | ヒューマンコミュニケーション I | | 2後 | ○ | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | ヒューマンコミュニケーション II | | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 小計(28科目) | | — | — | 18 | 36 | 0 | — | | 14 | 4 | 6 | 8 | 0 | 52 | |
| 外国語科目 | (英語) | | 1前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | コミュニケーション英語A | | 1後 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | コミュニケーション英語B | | 1後 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 医療英語 I | | 2前 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 医療英語 II | | 2後 | | 1 | | | ○ | | | | | | | | |
| | 応用英語 I | | 3前 | | 1 | | | ○ | | | 1 1 | 2 2 | 2 0 | 0 0 | 3 0 0 | |
| | 応用英語 II | | 3後 | | 1 | | | ○ | | | 1 1 | 2 2 | 2 0 | 0 0 | 3 0 0 | |
| | ドイツ語基礎 I | | 1前 | | 1 | | | ○ | | | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 1 | |
| | ドイツ語基礎 II | | 1後 | | 1 | | | ○ | | | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 1 | |
| | フランス語基礎 I | | 1前 | | 1 | | | ○ | | | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 1 | |
| | フランス語基礎 II | | 1後 | | 1 | | | ○ | | | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 1 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------|------------|----|-----|------|----|---|---|----|----|----|----|---|----|--------------|
| | | 中国語基礎 I | 1前 | | 1 | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 中国語基礎 II | 1後 | | 1 | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | ロシア語基礎 I | 1前 | | 1 | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | ロシア語基礎 II | 1後 | | 1 | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 小計 (14科目) | — | — | 6 | 8 | 0 | — | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 8 | |
| | | 健康スポーツ科学実技 | 1前 | | 1 | | | ○ | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | |
| | | 全学共通科目 合計 | — | — | 29.5 | 44 | 0 | — | 18 | 7 | 8 | 14 | 0 | 67 | |
| 基 礎 医 学 系 | 行動科学 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | オムニバス |
| | 基礎医学体験 | 1後 | ○ | 0.5 | | | | ○ | 13 | 10 | 9 | 18 | 0 | 0 | オムニバス |
| | 最新診断・治療学 | 1後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | オムニバス |
| | 医学史 | 1後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 7 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | オムニバス |
| | 実験動物学 | 1後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| | 医用統計学 | 1後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | オムニバス |
| | 基礎地域医療学 | 1後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 5 | |
| | 免疫生物学 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | 遺伝生化学 | 1後 | ○ | 1 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 | オムニバス |
| | 発生医学 | 1後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 4 | オムニバス |
| | 細胞組織学 | 1後 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 1 | 3 | 1 | 4 | 0 | 0 | ※実習/オムニバス |
| | 細胞生理学 | 1後 | ○ | 2 | | | ○ | | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 4 | オムニバス |
| | 細胞生化学 | 1後 | ○ | 2 | | | ○ | | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | オムニバス |
| | 基礎薬理学 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | オムニバス |
| | 医科栄養学 | 3前 | ○ | 1 | | | ○ | | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | オムニバス |
| | 基礎消化器学 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | 4 | 2 | 2 | 2 | 0 | 1 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎循環器学 | 2前 | ○ | 2 | | | ○ | | 3 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎呼吸器学 | 2前 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎運動器学 | 1前 | ○ | 2 | | | ○ | | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎泌尿器・生殖器学 | 2前 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 3 | 3 | 1 | 2 | 0 | 4 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎感覚器学 | 2前 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 4 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎神経学 | 2前 | ○ | 2 | | | ○ | | 5 | 4 | 1 | 1 | 0 | 1 | ※実習/オムニバス |
| | 基礎内分泌・代謝・血液学 | 2前 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 6 | 3 | 4 | 1 | 0 | 1 | ※実習/オムニバス |
| | 解剖学実習 | 2通 | ○ | 3.5 | | | ○ | | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | |
| | 基礎感染症学・実習 | 2後 | ○ | 6 | | | ○ | | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 4 | ※演習・実習/オムニバス |
| | 基礎医学実習 | 2前 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 6 | 4 | 3 | 11 | 0 | 0 | オムニバス |
| | 病理学総論 | 2後 | ○ | 2 | | | ○ | | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | ※実習 |
| | 病理学各論 | 3前 | ○ | 2 | | | ○ | | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 5 | ※実習 |
| | 社会環境医学 | 2後 | ○ | 2 | | | ○ | | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 9 | オムニバス |
| | 疫学と予防医学 | 3前 | ○ | 1 | | | ○ | | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | オムニバス |
| | 法医学 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| | 社会医学チュートリアル・実習 | 4通 | ○ | 2.5 | | | ○ | | 3 | 2 | 1 | 3 | 0 | 1 | ※実習/オムニバス |
| | 研究室配属 | 3後 | ○ | 3.5 | | | ○ | | 35 | 21 | 25 | 57 | 0 | 23 | オムニバス |
| | 基礎医学特論 | 2後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 2 | 2 | 0 | 2 | 0 | 3 | オムニバス |
| | 小計 (34科目) | — | — | 52 | 0 | 0 | — | | 36 | 21 | 25 | 57 | 0 | 79 | |
| 専 門 科 目 | メディカルコミュニケーション | 3後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 臨床遺伝学 | 3後 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 4 | オムニバス |
| | 総合診療・症候学- | 3後 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 1 | 1 | 0 | 3 | 0 | 3 | |
| | 画像診断入門 | 2後 | ○ | 0.5 | | | ○ | | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | |
| | 臨床内分泌・代謝学 | 3前 | ○ | 1 | | | ○ | | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | オムニバス |
| | 診断学 | 3前 | ○ | 2 | | | ○ | | 6 | 1 | 2 | 2 | 0 | 15 | オムニバス |
| | 放射線診断学 | 3前 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 9 | |
| | 治療学 | 3前 | ○ | 2 | | | ○ | | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | 7 | オムニバス |
| | 臨床消化器学 | 3前 | ○ | 2.5 | | | ○ | | 4 | 3 | 4 | 1 | 0 | 13 | オムニバス |
| | 臨床循環器学 | 3前 | ○ | 2.5 | | | ○ | | 1 | 0 | 3 | 2 | 0 | 14 | オムニバス |
| | 臨床呼吸器学 | 3前 | ○ | 2 | | | ○ | | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 11 | オムニバス |
| | 臨床運動器学 | 3後 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 7 | |
| | 臨床神経学 | 3後 | ○ | 2.5 | | | ○ | | 3 | 3 | 1 | 1 | 0 | 14 | オムニバス |
| | 眼科学 | 3後 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | |
| | 臨床泌尿器学 | 3後 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | オムニバス |
| | 臨床生殖器学 | 3後 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 8 | オムニバス |
| | 臨床血液学 | 3後 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| | 神経精神医学 | 3後 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 7 | |
| | 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 8 | オムニバス |
| | 皮膚科学 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 7 | |
| | 産科学 | 4前 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 | |
| | 臨床成長・発達学 | 4前 | ○ | 3 | | | ○ | | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 | 22 | オムニバス |
| | 臨床感染症学 | 4前 | ○ | 1.5 | | | ○ | | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 13 | オムニバス |
| | 総合感染症学 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------|---|-------|----|-----------|---|--|--|------|----|----|----|-------------|---|-----|-------|--|
| 臨床腫瘍学 | 4前 | ○ | 0.5 | | | ○ | | | ○ | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 | オムニバス | |
| 免疫・アレルギー | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | | ○ | 2 | 1 | 1 | 2 | 0 | 5 | オムニバス | |
| 麻酔科学 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | | ○ | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 9 | | |
| 救急医学 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | | ○ | 1 | 0 | 1 | 2 | 0 | 5 | オムニバス | |
| 老年医学 | 4通 | ○ | 0.5 | | | ○ | | | ○ | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | オムニバス | |
| 医療情報学 | 4通 | ○ | 1 | | | ○ | | | ○ | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | | |
| 地域医療体験 | 4前 | ○ | 1 | | | ○ | | | ○ | 1 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 | ※演習 | |
| PBLチートリアル | 4前 | ○ | 3 | | | ○ | | | ○ | 2 | 5 | 4 | 10 | 0 | 62 | オムニバス | |
| 臨床地域医療学 | 4前 | ○ | 0.5 | | | ○ | | | ○ | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 4 | | |
| 臨床医学特論 | 4通 | ○ | 1.5 | | | ○ | | | ○ | 5 | 2 | 1 | 2 | 0 | 8 | オムニバス | |
| 臨床実習入門 | 4通 | ○ | 4 | | | ○ | | | ○ | 5 | 3 | 5 | 15 | 0 | 162 | オムニバス | |
| 臨床実習Ⅰα | 4後 | ○ | 6.5 | | | ○ | | | ○ | 23 | 10 | 15 | 38 | 0 | 86 | オムニバス | |
| 臨床実習Ⅰβ | 5通 | ○ | 28.5 | | | ○ | | | ○ | 23 | 10 | 15 | 38 | 0 | 86 | オムニバス | |
| 臨床実習Ⅱ | 6通 | ○ | 18 | | | ○ | | | ○ | 24 | 10 | 15 | 38 | 0 | 86 | オムニバス | |
| 小計(38科目) | — | — | 104 | 0 | 0 | — | | | — | 30 | 17 | 19 | 44 | 0 | 347 | | |
| 合計(119科目) | — | — | 185.5 | 44 | 0 | — | | | — | 37 | 21 | 25 | 57 | 0 | 463 | | |
| 学位又は称号 | 学士(医学) | | | | 学位又は学科の分野 | | | | 医学関係 | | | | | | | | |
| 卒業・修了要件及び履修方法 | | | | | | | | | | | | | 授業期間等 | | | | |
| 入門科目から4.5単位、主題科目、キャリア科目、基幹科目(人文・社会分野)から14単位以上、基幹科目(自然分野)から8単位、基幹科目(実験演習分野)から4単位を修得すること。外国語科目から8単位以上修得すること。全学共通科目39.5単位以上、専門科目156単位を修得すること。 | | | | | | | | | | | | | 1学年の学期区分 | | 2学期 | | |
| | | | | | | | | | | | | | 1学期の授業期間 | | 15週 | | |
| | | | | | | | | | | | | | 1时限の授業の標準時間 | | 90分 | | |

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出をおうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るもの含む。)についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「主要授業科目」の欄は、授業科目が主要授業科目に該当する場合、欄に「○」を記入すること。なお、高等専門学校の学科を設置する場合は、「要授業科目」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 「単位数」の欄は、各授業科目について、「必修」、「選択」、「自由」のうち、該当する履修区分に単位数を記入すること。
- 「授業形態」の欄は、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実習・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員等」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等」と読み替えること。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」と読み替えること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「基幹教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した後に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した後に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。
- 高等専門学校の学科を設置する場合は、高等専門学校設置基準第17条第4項の規定により計算することのできる授業科目については、備考欄に「☆」を記入すること。